仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）

図　面　リ　ス　ト			
機　械　設　備		機　械　設　備	
Ａ－００	表紙・リスト	Ａ－１５	校舎棟　展開図（改修前後）
Ａ－０１	特記仕様書（1）	Ａ－１６	校舎棟　建具・家具表
Ａ－０２	特記仕様書（2）	Ａ－１７	校舎棟　トイレブース詳細図
Ａ－０３	特記仕様書（3）	Ａ－１８	校舎棟　置床割付図
Ａ－０４	特記仕様書（4）	Ａ－１９	講堂棟　全体平面図（改修前）
Ａ－０５	特記仕様書（5）	Ａ－２０	講堂棟　全体平面図（改修後）
Ａ－０６	特記仕様書（6）	Ａ－２１	講堂棟　平面詳細図（改修前後）
Ａ－０７	工事区分表	Ａ－２２	講堂棟　矩計図（改修前後）
Ａ－０８	全体配置図	Ａ－２３	講堂棟　天井伏図（改修前後）
Ａ－０９	校舎棟　各階平面図（改修前）	Ａ－２４	講堂棟　建具表・家具図
Ａ－１０	校舎棟　各階平面図（改修後）	Ａ－２５	講堂棟　トイレブース詳細図
Ａ－１１	校舎棟　平面詳細図（改修前後）	Ａ－２６	講堂棟　置床割付図
Ａ－１２	校舎棟　矩計図(1)（改修前後）	Ａ－２７	雑詳細図
Ａ－１３	校舎棟　矩計図(2)（改修前後）		
Ａ－１４	校舎棟　天井伏図（改修前後）		

株式会社　綜企画設計

仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）　　工 事 仕 様 書

Ⅰ　工 事 概 要

1.工 事 場 所　福岡県行橋市稲童3104

2.敷 地 面 積　23070.26m2

3.工 事 種 目　改修工事

【 建築工事】

（1） 特別教室棟全面改修　　ＲＣ３階建　　延べ面積1154.57m2　　改修１棟

（2） 建築撤去･仕上げ工事（トイレ部分）　　改修一式

※既存撤去は本体建築工事の区分

【 別途工事】

（ 1） 建築主体工事（ 本体部分）　改修一式

（ 2） 電気設備工事　改修一式

（ 3） 空調換気設備工事　改修一式

（ 4） 給排水衛生設備工事　改修一式

Ⅱ　建築改修工事仕様

1.　共 通 仕 様

（1） 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（ 平成25年版）」（ 以下、「 改修標準仕様書」という ）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「 公共建築工事標準仕様書（ 建築工事編）（ 平成25年版）」（ 以下、「 標準仕様書」という ）による

（2）本工事に電気設備、機械設備工事を含む場合の工事仕様書は別図による

（3）請負者は完了検査（ 中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（ 建築主事）が求める検査に必要な資料等（ 報告書等）を用意すること

2.　特 記 仕 様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する

（2）特記事項は○印の付いたものを適用する

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する

○印と※印の付いた場合は、共に適用する

（3）特記事項に記載の［　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す（　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す

（4）Ｇ印は、「 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（ 以下、「 グリーン購入法」という ）の特定調達品目を示す。

判断の基準は「 環境物品等の調達に関する基本方針（ 平成25年2月）」（ 環境省のホームページからダウンロード 可能） による。

（5）関係法令の改正等により（ 条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（6）形状寸法の単位は特記なきかぎりミリメート ルとする

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1. 適用基準等	・ 建築工事標準詳細図（ 平成22年版）
	2. 発生材の処理等	・ 発注者に引渡しを要するもの（ ・ 金属類・ ＰＣＢ含有物・　　） （1.3.8）

引渡し場所　※構内　・（　　　）

特定建設資材の分別解体等及び再資源化等

・ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に、特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（ 平成12年5月31日法第104号。以下「 建設リサイクル法」という 。）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずる。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

工程ごとの作業内容

	工　程	作 業 内 容
工程ごとの作業内容	①造成等	造成等の工事 ・ 有　・ 無
	② 基 礎 基礎ぐい	基礎・ 基礎ぐいの工事 ・ 有　・ 無
	③上部構造部分 外装	上部構造部分・ 外装の工事 ・ 有　・ 無
	④屋根	屋根の工事 ・ 有　・ 無
	⑤ 建 築 設 備 内装等	建築設備・ 内装等の工事 ・ 有　・ 無
	⑥その他 （　　）	その他の工事 ・ 有　・ 無

・ 本工事は、建設リ サイクル法等の対象工事外であるが分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な措置を行う 。

再資源化すべきもの

廃棄物の種類	施設名称	所在地	搬出距離
・ コンクリート塊	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km
・ アスファルト コンクリート塊	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km
・ 建設発生木材	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km
・			

再資源化すべきもの以外

廃棄物の種類	施設名称	所在地	搬出距離
・ 廃プラスチック類	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km
・ ガラスくず、 陶磁器くず	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km
・ 繊維くず			
・ 木くず	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km
・ 非飛散性 アスベスト含有建材	（株）塚田工業	春日市塚原台1丁目17番	16.0km
・ 飛散性アスベスト			
・ 廃石膏ボード	（株）富商	大野城市御笠川4丁目4番3号	10.0km

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議する

3. 品質計画

施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算　［1.1.2］

基準風速（ Ｖ ）　（　34　） m/s

地表面粗度区分　・ I　・ II　・ III　・ IV

・ 上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する

・ 上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する

適用工種 ・ ALOパネル（ 外壁）・ 押出成形セメント板（ 外壁）・ 外壁石張（ 乾式）

・ 長尺金属板葺・ 折板葺 ・ アルミ 笠木 ・ ガラスブロック

・ シート防水（ 機械式） ・ 屋上緑化用システム ・（　　）

4. 電気保安技術者

工事現場に置く電気保安技術者は電気工作物の保安の業務を行う 。　［1.3.3］

・ 九州地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作物保安規程を適用する。

・ 九州地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作物保安規程を準用する。

5. 施工中の安全確保

工事施工に際し、架空線等上空施設及び埋設物について、事前調査、　［1.3.7］

禁止対策、事前対策を実施する

6. 材料の品質等

同等以上の材料・ 機材等の使用

本工事に使用する材料・ 機材等は設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

材料・ 機材等の品質及び性能

本工事に於いて別表－2 に示す材料を使用する場合の材料・ 機材等の製造業者等は次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。

（1）品質及び性能に関する試験データを整備していること

（2）生産施設及び品質の管理を適切に行っていること

（3）安定的な供給が可能であること

（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること

（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

（6）販売、保守等の営業体制を整えていること

7. 環境への配慮

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1）から4）を満たすものとする

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF 、パーティクルボード 、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセト アルデヒド 及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「 ホルムアルデヒド の放散量」の区分に応じた材料を使用する

2）接着剤及び塗料はト ルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する

3）接着剤は可塑剤（ フタル酸ジ－n －ブチル及びフタル酸ジ－2 －エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く ） が添加されていない材料を使用する

4）1 ） の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド 、アセト アルデヒド 及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

また、設計図書に規定する「 ホルムアルデヒド の放散量」は、次の通りとする

規制対象外

①建築基準法施行令第２０条の7 第1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド 発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第２０条の7 第4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

第三種品

①建築基準法施行令第２０条の7 第1 項に定める第三種ホルムアルデヒド 発散建築材料

②建築基準法施行令第２０条の7 第3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

本工事に使用する材料はアスベスト を含有しないものとする。　［1.4.1］

公共工事の配慮事項

グリーン購入法（ 平成１２年法律第１００号） に基づく 環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項に留意すること（ 基本方針一部抜粋） １９．

公共工事の【 配慮事項】 資材の梱包及び容器は可能な限り 簡易であって、再生利用の容易さ 及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること

1 一般共通事項（続き）

8. 室内空気中の化学物質の濃度測定

着工前及び施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド 、ト ルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること

測定はパッシブ型採取機器により行う

測定対象室及び測定箇所数は仕上表による

注）測定バッジはホルムアルデヒド とト ルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン用の2種類を用いる

9. 特別な材料の工法

改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、当該製品の指定する工法とする

10. 施工調査

施工数量調査　［1.5.2］

調査項目 ・ 防水改修 ・ 外壁改修　・（　　）

調査範囲 ・ 図示　・（　　）　［1.5.2］

調査方法 ・ 打診及び目視による　・（　　）　［1.5.2］

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　［1.5.3］

11. 技能士

適用種別　［1.6.2］

適用工事種別	技能検定の職種等
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（ 鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・ 型枠施工（ 型枠工事作業）
	・ コンクリート圧送施工（ コンクリート工事圧送作業）
鉄骨工事	・ とび（ とび作業）
	・ 鉄工（ 構造物鉄工作業）
コンクリートブロック･ALOパネル 押出成形セメント板工事	・ ブロック建築（ コンクリートブロック工事作業）
	・ エーエルシーパネル施工（ エーエルシーパネル工事作業）
防水工事	・ 防水施工（ アスファルト防水工事作業）
	・ 防水施工（ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業）
	・ 防水施工（ 合成ゴム系シート防水工事作業）
	・ 防水施工（ 塩化ビニル系シート防水工事作業）
	・ 防水施工（ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業）
	・ 防水施工（ シーリング 防水工事作業）
石工事	・ 石材施工（ 石張り 作業）
タイル工事	・ タイル張り（ タイル張り 作業）
木工事	・ 建築大工（ 大工工事作業）
屋根工事	・ 建築板金（ 内外装板金作業）
	・ スレート工事作業
金属工事	・ 内装仕上げ施工（ 鋼製下地工事作業）
	・ 建築板金（ 内外装板金作業）
左官工事	・ 左官（ 左官作業）
塗装工事	・ 塗装（ 建築塗装作業）
建具工事	・ 建具製作（ 木製建具手加工作業）
	・ 建具製作（ アルミ製室内建具製作作業）
	・ サッシ施工（ ビル用サッシ施工作業）
	・ 自動ドア施工（ 自動ドア施工作業）
	・ ガラス施工（ ガラス工事作業）
内装工事	・ 内装仕上げ施工（ プラスチック系床仕上げ工事作業）
	・ 内装仕上げ施工（ カーペット系床仕上げ工事作業）
	・ 内装仕上げ施工（ ボード 仕上げ工事作業）
	・ 表装（ 壁装作業）
	・ 畳製作（ 畳製作作業）
植栽工事	・ 造園（ 造園工事作業）
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工（ 金属製カーテンウォール工事作業）
外壁改修工事	・ 樹脂接着剤注入施工（ 樹脂接着剤注入工事作業）
（　　）	・（　　）

※ エーエルシーパネル施工･樹脂接着剤注入施工　単一等級

12. 完成写真

撮影方法、提出方法は下記によるほか、監督職員との協議による

撮影機材	・ フィルムカメラ	※デジタルカメラ
原版サイズ等	・ 100×125以上 ・（　）以上	・ 700万画素以上 ・（　）万画素以上
	写真原版は撮影業者の保管とする	
アルバム提出	※カラーキャビネ版サイズでプリントしたものを（　）カット 貼付 ・ 工事概要書、平面図を添付とする ※1部 ・（　）部	
電子データ	・（　）形式を ＣＤ－Ｒで（　）部	・（ JPEG ）形式を ＣＤ－Ｒで（　）部
撮影者	・ 監督職員の承諾する建築完成写真の撮影実績がある専門業者 ・ 監督職員の承諾する撮影者	

1 一般共通事項（続き）

13. 完成図（施工図及び施工計画書を除く）

※提出する　（1.7.2）

※完成図の種類（ ＣＡＤで作成） は下記による

a	・ 配置図及び案内図 ・ 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 ・ 仕上表 ・ 構造図
b	・ 配置図及び案内図 ・ 平面図 ・ 仕上表 ・ 植栽図

※提出様式ごとの、部数、完成図の種類等は下記による

提出様式		部数	作成要領	サイズ・ 形式	完成図の種類
紙媒体	ケミカル紙･ドラガー用紙（ 原図）	1	―	A1判又はA3判	b
	上質紙（ 複写図）	1	―	A3判	a
電子媒体	ＣＤ－Ｒ	3	営繕工事電子納品要領（ 案） によるＣＤ－Ｒに格納	SXF形式及びオリジナル形式及びDXF形式及びPDF形式	a
	ＣＤ－Ｒ	3	上記とは別のＣＤ－Ｒに格納	上記に同じ	a

14. 施工図

※提出する

工事完成後は監督職員の指示する施工図を提出する。なお、本工事に係る施工図等の著作者の権利は、当該建物における使用に限り 発注者に移譲するものとする。

※提出様式ごとの、部数、施工図の種類等は下記による

提出様式		部数	作成要領	サイズ・ 形式	施工図の種類
紙媒体	ケミカル紙 ドラガー用紙 （ 原図）	1	―	A1判又はA3判	構造図躯体図、 カーテンウォール図 （ 施工計画書共）
	上質紙 （ 複写図）	1	―	A3判 ２つ折り 製本	

15. 設備工事との取り合い

施工範囲　別表-1による

施工図　設備機器の設置、取合い等が検討のできる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける

2 仮設工事

1. 足場その他

内部足場　※きゃたつ、足場板等　・（　　）　［2.2.1］

外部足場　［2.2.1］［表2.2.1］

種類　※A種（ 手すり 先行型足場） ・ B種 ・ C種 ・ D種

・ 防護シート を設置する

・ 防音シート を設置する

材料・ 撤去材等の運搬方法　［2.2.1］［表2.2.2］

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種

2 . 既存部分の養生

既存部分の養生　・ 行う　・ 行わない

養生方法　※ビニルシート 等による ・（　　）　［2.3.1］

既存家具等の養生　※ビニルシート 等による ・（　　）　［2.3.1］

設置範囲　※図示 （　　）

開口部の養生　※行う　・ 行わない

養生方法　・ 合板張り による　・（　　）

設置範囲　※図示 （ A091，A092/A147図による ）

固定された備品、机、ロッカー等の移動　［2.3.1］

※行わない　・ 行う（ 図示）

3. 仮設間仕切り

仮設間仕切り 等の種別　［2.3.2］［表2.3.1］

種　別	材　質	仕上げ
・ A種	・ せっこうボード 厚9.5両面張り　グラスウール充填厚さ（　）	・ 片面塗装
	・ 合板厚9両面張り　グラスウール充填厚さ（　）	・ 片面塗装
・ B種	・ せっこうボード 厚9.5片面張り　・ 合板厚9片面張り	・
・ C種	※シート 張り	―――
・ 仮設扉	・ 合板張木製扉	・

4. 監督職員事務所

※設ける　・ 設けない　［2.4.1］

面積規模（　　） m^2 程度

監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切り 壁等で仕切る

監督職員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り 又はビニル床シート 張り
内壁、天井	合板又はせっこうボード 張り 、合成樹脂エマルションペイント塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 、又は鉄板張り 、調合ペイント塗り

5. 工事用水

構内既存の施設 ・ 利用できる（ ※有償　・ 無償）　※利用できない

6. 工事用電力

構内既存の施設 ・ 利用できる（ ※有償　・ 無償）　※利用できない

設計者	工事名	図番
株式会社綜企画設計　九州支社 管理技術者　古元　俊治 1級建築士　278179号	仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修） 改修工事特記仕様書（１） 行橋市役所建築政策課	Ａ－０１ H25.8.1版

土工事

1. 埋戻し及び盛土

（3. 2. 3）（表3. 2. 1）

種別　・A種　※B種　・C種　・D種

C種の場合（発生場所　　）

（連絡先　　）

（運　搬　・発生原因者側　・本工事　　km ）

2. 建設発生土の処理

（3. 2. 5）

※構外指示の場所

受け入れ場所（　　）

受け入れ場所での処置（・敷きならし　※たい積　）

搬出距離　（4. 0　　）km

上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する

・構内指示の場所（・敷きならし　・たい積　）

3 防水改修工事

1. 共通事項

施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

改修用ドレン（ POAS, POASI , P0D, P0DI , P0S, POSI , P0Xの場合）

取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による

2. 降雨等に対する養生方法（ といい共）

（3. 1. 3）

※改修標準仕様書3. 1. 3(e)(1)～(3)による。・

3. 既存防水の処理

（3. 2. 3, 4, 6）

既存保護層の撤去　・行う（ 範囲　・図示　・　　）

・行わない

既存防水層の撤去　・行う（ 範囲　・図示　・　　）

・行わない

露出防水層表面の仕上げ塗装除去　・行う（ ・MIAS　・MIASI　・MIC　・MICI　・L4X）

・行わない

4. 既存防水層の下地補修

（3. 2. 6）

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示

P0S工法及びP0SI 工法（ 機械式固定方法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置　※改修標準仕様書3. 2. 6(d)(3)(vii)①～③による　・

5. アスファルト防水

（3. 3. 2～4, 3. 3. 5）

屋根保護防水

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A－1 ※A－2 ・A－3		（ 材質） ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板・ 2種1号又は2号で透湿係数を除く 規定に適合するもの ・ （ 厚さ）・25mm ・	※ポリエチレンフィルム 厚さ0. 15mm以上 ・	・乾式 保護材 ・コンクリート 押え ・れんが 押え
・P1B	・B－1 ※B－2 ・B－3				
・P2A1	・A1 －1 ※A1 －2 ・A1 －3			※フラットヤーンクロス	
・P1B1 ・T1B1	・B1 －1 ※B1 －2 ・B1 －3		板3種b（ スキンあり） ・ （ 厚さ）・25mm ・		

改質アスファルト ルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3. 3. 3から表3. 3. 9による

部分粘着層付改質アスファルト ルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3. 3. 3から表3. 3. 9による　・

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ　※水下　80mm以上

床タイル張り　※水下　60mm以上

・乾式保護材

窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

（ 品質・性能・試験方法）

建築材料等品質性能表による

屋根防水

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G	備考
・M4C	・O-1 ※O-2 ・O-3 ・O-4			・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による		
・M3D ・P0D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・D1 －1 ※D1 －2		（ 材質） ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種1号又は2号で透湿係数を除く 規定に適合するもの ・ （ 厚さ）・25mm ・	・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

脱気装置の種類及び設置数量

※アスファルト ルーフィング類製造所の指定による

屋根防水断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示　・

屋内防水

工法	種別	施工箇所	備考
・P1E ・P2E	・E－1 ※E－2		保護層　・設ける ・設けない

押え金物の材質及び形状

ALJ-203Eアルミニウム製　L－30×15×2. 0mm程度

屋根排水溝　※図示

3 防水改修工事（続き）

6. 改質アスファルト シート防水

（3. 4. 2）

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 G	備考
・MIAS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J3				
・MIASI ・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4　屋上 ・AS-J2 ・AS-J4 ・AS-4				脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・MIASI ・MIASI ・P0ASI	・ASI －T1 ・ASI －J1		（ 材質） ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ （ 厚さ）・25mm ・		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルト シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3. 4. 1から表3. 4. 3による　・

粘着層付改質アスファルト シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3. 4. 1から表3. 4. 3による　・

部分粘着層付改質アスファルト シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書3. 4. 1から表3. 4. 3による　・

脱気装置の種類及び設置数量

※改質アスファルト シート製造所の指定による　・

押え金物

※改質アスファルト 製造所の仕様による

7. 合成高分子系 ルーフィングシート防水

（3. 5. 2）（表3. 5. 1、2）

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 G	備考
⊙P0S ・S4S	・S-F1 ⊙S-F2 ・S-M1 ⊙S-M2 ・S-M3			・カラー ・シルバー		脱気装置 ⊙設ける ・設けない 改修用ドレン ⊙設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・カラー ・シルバー		脱気装置 ・設ける ・設けない
・MIS	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・カラー ・シルバー		脱気装置 ・設ける ・設けない
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・MISI	・SI －F1 ・SI －F2		（ 材質） ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ （ 厚さ）・25mm ・	・カラー ・シルバー		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・SI －M1 ・SI －M2		（ 材質） ※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く 規定に適合するもの又はA種押出し法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ （ 厚さ）・25mm ・			

ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3. 5. 1から表3. 5. 2による　・

絶縁用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・

脱気装置の種類及び設置数量　※ルーフィングシート 製造所の指定による　・

既存防水下地がRCコンクリート部材の場合の処理

目地処理　・行う（ 工法　　）

・行わない

入隅部の増張り　・行う（ S-F1, SI －F1の場合）

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（ 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

8. 塗膜防水

（3. 6. 2）

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 G	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・		・カラー ・シルバー		脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　・設けない
⊙L4X	・X-1 ※X-2 ・		・カラー ・シルバー		脱気装置　・設ける　・設けない
・P1Y	※Y-2 ・				保護層　・設ける　・設けない
・P2Y	※Y-2 ・				保護層　・設ける　・設けない

脱気装置の種類及び設置数量　※主材料製造所の指定による　・

9. シーリング

（3. 7. 2、8）

シーリング改修工法の種類

⊙シーリング充填工法

・シーリング再充填工法

・拡幅シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない

エッジシング材張り　・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書3. 7. 1による。

施工箇所	シーリング材の種類（ 記号）

シーリング材の目地寸法　※改修標準仕様書3. 7. 3(a)(1)～(3)による

接着性試験　※簡易接着性試験　・引剥接着性試験

（3. 7. 8）

3 防水改修工事（続き）

⑩ といい

（3. 8. 2、3）

種　別	材　種	径	施工箇所	備　考
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管			
	・配管用鋼管			
	・配管用銅管			SUS304、厚2
	⊙硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）	100		
軒どい	・			

ルーフドレン

種別	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型　・横型）	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量

※対象外

既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　※図示　・

鋼管製といの防露巻き　※改修標準仕様書表3. 8. 5による　・

たてどい受金物の取付け　※図示

ルーフドレンの取付け　※水はけがよく、床面より下げ、周囲の雨雨こモルタルを充填

11. アルミニウム製笠木

（3. 9. 2）

種類　・オープン形式（・250形　・300形　・350形　・100形）

・板材折曲げ形（ 本体幅：　mm 板厚：※2. 0mm ・　mm）

表面処理　種別（　）種　皮膜等の種類（ ※標準仕様書表14. 2. 1による　・　）

着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）

既存笠木等の撤去　・行う（ 範囲　・図示　・　　）

・行わない

下地補修の工法　※図示　・

板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する（ 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1. 15 ・1. 3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

4 外壁改修工事

①可とう性エポキシ樹脂

（4. 2. 2）

（ 品質・性能・試験方法）

建築材料等品質性能表による

②パテ状エポキシ樹脂

（4. 2. 2）

（ 品質・性能・試験方法）

建築材料等品質性能表による

③エポキシ樹脂モルタル

（4. 2. 2）

（ 品質・性能・試験方法）

建築材料等品質性能表による

④ポリマーセメント モルタル

（4. 2. 2）

（ 性能）

建築材料等品質性能表による

5. ポリマーセメント スラリー

（4. 2. 2）

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）	引張接着性（材齢28日）	曲げ性能（材齢28日）	吸水性（72時間）	耐久性（劣化曲げ強さ）
3 以上	3%	0. 5 N/mm² 以上	5. 0 N/mm² 以上	15% 以下	5. 0 N/mm² 以上

保水係数　0. 35～0. 55

粘度係数　0. 50～1. 00

⑥既製調合モルタル

（4. 2. 2）

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

（ 品質・性能・試験方法）

建築材料等品質性能表による

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

（4. 2. 2）（4. 3. 4～6）

・ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0 以下	※ 200～300	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3 未満	・ 50～100	・ 40 ・
	0. 3以上～0. 5 未満	・ 100～200	・ 70 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上～1. 0 以下	・ 150～250	・ 130 ・ ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う

・行わない

抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　※図示　・

・ Uカットシール材充填工法

・シーリング材

充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・

ポリマーセメントモルタルの充填　・行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・ シール工法

・ パテ状エポキシ樹脂

・ 可とう性エポキシ樹脂

9. 欠損部改修工法

（4. 2. 2）（4. 3. 7）

※ 充填工法

・ エポキシ樹脂モルタル

・ ポリマーセメントモルタル

・

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1. 既存モルタル塗りの撤去

・行う（ ※ 全面　・ 図示の範囲）

2. ひび割れ部改修工法

（4. 4. 2）（4. 4. 5～7）

・ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0 以下	※200～300	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3 未満	・ 50～100	・ 40 ・
	0. 3以上～0. 5 未満	・ 100～200	・ 70 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上～1. 0 以下	・ 150～250	・ 130 ・ ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う

・行わない

抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　※図示　・

・ Uカットシール材充填工法

・シーリング材

充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・

ポリマーセメントモルタルの充填　・行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

③ 欠損部改修工法

（4. 4. 2）（4. 4. 8、9）

・ 充填工法

・ エポキシ樹脂モルタル　・ ポリマーセメントモルタル

⊙モルタル塗替え工法

既製目地材　・使用する（ 形状　　）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4. 浮き部改修工法

（4. 2. 2）（4. 4. 10～15）

工法の種類	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	アンカーピンの本数（本/m²） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m²） 指定部	充填量（ml/箇所）	注入量（ml/箇所）
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	―	―	※ 25 ・	―
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	―	※ 25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	―	※ 50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	―	―	※ 25 ・	―
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25 ・	―
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	―	※ 50 ・
・充填工法	―	―	―	―	―	―
・モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―	―

アンカーピン

※ ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

・

注入口付アンカーピン

※ ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm

・

充填工法

・ エポキシ樹脂モルタル　・ ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法

既製目地材　・使用する（ 形状　　）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1. 既存タイル張りの撤去

・ 外壁タイル張り全面　・ 図示の範囲

撤去範囲　※ 下地モルタルまで　・ 張付けモルタルまで　・ タイルのみ

2. ひび割れ部改修工法

（4. 2. 2）（4. 5. 5、6）

改修箇所　※ 既存タイル張り面

・ 既存タイル撤去面（・ コンクリート面　・ モルタル面）

・ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0 以下	※ 200～300	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3 未満	・ 50～100	・ 40
	0. 3以上～0. 5 未満	・ 100～200	・ 70
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 5以上～1. 0 以下	・ 150～250	・ 130

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う

・行わない

抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　・図示　・

・ Uカットシール材充てん工法

（既存タイル張り撤去面）

・シーリング材

充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・

ポリマーセメントモルタルの充填　・行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

設計者	株式会社綜企画設計　九州支社 管理技術者　古元　俊治 1級建築士　278179号	仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修） 改修工事特記仕様書（2）	A－02
		行橋市役所建築政策課	H25. 8. 1版

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁（続き）

3. 欠損部改修工法

[4.2.2][4.5.7、8]

・ タイル部分張替え工法
　接着剤の種類
　・ポリマーセメント モルタル
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成ウレタン樹脂系

・ タイル張替え工法
　接着剤の種類
　・ポリマーセメント モルタル
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成ウレタン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
　位置　※改修標準仕様書表4.5.1による　・
タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・行わない
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
　タイル張りの工法
　　外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
　　外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・
　　伸縮調整目地その他の目地　　※変成シリコーン系　・

4. 浮き部改修工法

[4.2.2][4.5.9〜15]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		充填量（ml/箇所）	注入量（ml/箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部		
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	――	――	※25 ・	――
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	――	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	――	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	――	――	※25 ・	――
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・	――
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	――	※50 ・
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	――	――	※25	――
・充填工法	――	――	――	――	――	――
・モルタル塗替え工法	――	――	――	――	――	――

アンカーピン
　※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
　・
注入口付アンカーピン
　※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm

・ タイル部分張替え工法
　接着剤の種類
　・ポリマーセメント モルタル
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成ウレタン樹脂系

・ タイル張替え工法
　接着剤の種類
　・ポリマーセメント モルタル
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成ウレタン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
　位置　※改修標準仕様書表4.5.1による　・

タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
　タイル張りの工法
　　外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
　　外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・
　　伸縮調整目地その他の目地　　※変成シリコーン系　・

5. 目地改修工法

[4.5.16]

・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮目地改修工法
　伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示

6. タイルの形状、寸法等

[4.2.2]

主な用途による区分 施工箇所	形状寸法（mm）	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

4-4 塗り仕上げ外壁

1. 所要量の確認

[4.6.2][表4.6.1]

工程ごとの所要量の確認　※改修標準仕様書表4.6.1による

2. 既存塗膜等の除去及び下地処理

[4.6.3]

工法	処理範囲	下地の補修	加圧力
・サンダー工法	・既存仕上面全体・30%・50%	・行う	―
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体　・（　　）	・行う	・30〜100Mpa程度 ・100〜250Mpa程度
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体　・（　　）	・行う	―
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・（　　　）	・行う	10〜30Mpa程度

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

3. 下地調整塗材

[4.6.4]

※ 下地調整塗材
・ ポリマーセメント モルタル
・ 防水形仕上げ塗材主材

4. 仕上げ塗材仕上げ

[4.6.5]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
新規仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	上塗材　・適用する　・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	・	上塗材
	・複層塗材Si	・	耐候性　※耐候形3種
	・複層塗材E	・	溶媒　※水系　・溶剤系
	・複層塗材RE	・	樹脂　※アクリル系　・
	・防水形複層塗材CE	・	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	・	
	・防水形複層塗材RS	・	増塗材 ・適用する　・適用しない
・可とう系改修用仕上塗材	・可とう系改修塗材E	・	・平たん状
	・可とう系改修塗材RE	・	・さざ波状
	・可とう系改修塗材CE	・	・ゆず肌状

5. マスチック塗材塗り

[4.6.6]

種別　・A種　・B種

6. 外壁改修数量表

・図示

工法	単位	寸法等	既存仕上げ	棟名	
樹脂注入工法	m	0.2mm以上 1.0mm以下	コンクリート		
			モルタル		
			タイル		
充填工法（エポキシ樹脂モルタル）	箇所	・100×100×30 ・100×200×30	コンクリート		
			モルタル		
			タイル		
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	㎡		コンクリート		
			モルタル		
			タイル		
タイル張替え	㎡		コンクリート		
			モルタル		
			タイル		

5 建具改修工事

1. 改修工法

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	・建具表による　・
・樹脂製建具		―	・	・建具表による　・
・鋼製建具	・外部	・	・	・建具表による　・
	・内部	・	・	・建具表による　・
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による　・
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による　・

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・

2. 防火戸

[5.1.4]

・適用する　適用箇所（・建具表による　・　　　）
・適用しない

3. 防犯建物部品

[5.1.7]

・適用する（　　　　）　適用箇所（・建具表による　・　　　）
・適用しない

4. アルミニウム製建具

[5.2.2、4、5][表5.2.2]

性能等級
　外部に面する建具　・A種（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　・B種（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　・C種（建具符号:・建具表による　・　　　）
　防音ドアセット，防音サッシ　　・適用する　遮音性の等級（防衛省防音2級建具とする）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　断熱ドアセット，断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　耐震ドアセット　　　　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
枠の見込み寸法　・建具表による
表面処理
　外部に面する建具　・B-1種　・B-2種　・
　　　　皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による　・　　）
　　　　着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
　屋内の建具　　・C-1種　・C-2種　・
　　　　皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による　・　　）
　　　　着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
結露水の処理方法　・図示
水切り板、ぜん板　・図示

網戸等　[5.2.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16〜18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

5 建具改修工事（続き）

5. 樹脂製建具

[5.3.2〜5]

性能等級
　外部に面する建具　・A種（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　・B種（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　・C種（建具符号:・建具表による　・　　　）
　防音ドアセット，防音サッシ　　・適用する　遮音性の等級（・T-1　・T-2）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　断熱ドアセット，断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（・H-4・H-5・　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない

枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　　※図示　・
ガラス　※複層ガラス

6. 鋼製建具

[5.2.2][5.4.2〜4][表5.4.2]

性能等級
　簡易気密型　・適用する
　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　　　　　・S-5（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　　　　　・S-6（建具符号:・建具表による　・　　　）

　防音ドアセット，防音サッシ　　・適用する　遮音性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　断熱ドアセット，断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　耐震ドアセット　　　　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12	・標準仕様書表5.4.2による
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板）	※Y08	・

7. 鋼製軽量建具

[5.2.2][5.5.2〜4]

性能等級
　簡易気密型　・適用する
　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　・適用しない
　防音ドアセット，防音サッシ　　・適用する　遮音性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　断熱ドアセット，断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　耐震ドアセット　　　　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板
鋼板の厚さ　・改修標準仕様書表5.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質　※ステンレス鋼板　・鋼板

8. ステンレス製建具

[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2〜4]

性能等級
　簡易気密型　・適用する
　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　　　　　・S-5（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　　　　　・S-6（建具符号:・建具表による　・　　　）

　防音ドアセット，防音サッシ　　・適用する　遮音性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　断熱ドアセット，断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
　耐震ドアセット　　　　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
　　　　　　　　　　　　（建具符号:・建具表による　・　　　）
　　　　　　　　　　　・適用しない
鋼板（屋外）　・SUS430JIL、SUS443J1、SUS304　・
鋼板（屋内）　※SUS430、SUS430JIL、SUS443J1、SUS304　・
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

9. 建具用金物

[5.7.2、3、4]

・マスターキー　※製作する（※新規　・既存にあわせる）
※シリンダー箱錠（既存校舎　MIWA　U9シリーズ　に合わせること）
　※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
　　　　　　　　　　座金　※丸座　・長座
　・握り玉　　　　　材質　※ステンレス
・本締り錠
（性能）
　建築材料等品質性能表による
・空錠
　※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
　　　　　　　　　　座金　※丸座　・長座
　・握り玉　　　　　材質　※ステンレス
・グレモン錠
　　レバーハンドルの材質　※亜鉛合金　・ステンレス
　　製造所　　※図示
・ピボットヒンジ
　　カバー部の材質　　　※ステンレス　・亜鉛合金
・フロアヒンジ
　　・Grade1　※Grade2
　　カバー部の材質　　　※ステンレス
・ヒンジクローザー（丁番型）
　　材質　・鋼（焼付け塗装）
・ヒンジクローザー（ピボット型）
　　材質　・鋼（焼付け塗装）

5 建具改修工事（続き）

・ドアクローザー
　　・Grade1　※Grade2
　　材質　※アルミニウム合金
・押棒、押板
　　材質　・ステンレス　・黄銅　・合成樹脂
・アームストッパー
　　材質　・鋼（クロームめっき）　※ステンレス
・クレセント
　　材質　　※建具製造所の仕様による
・排煙オペレーター（※埋込　・露出）

10. 自動ドア開閉装置

[5.8.2、3]

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※改修標準仕様書表5.8.1による ・	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
・SWD-1 ・SWD-2	※改修標準仕様書表5.8.1による ・		・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ	
・図示	・		・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	

11. 自閉式上吊り引戸装置

[5.9.3]

性能　　※改修標準仕様書表5.9.1による

12. 重量シャッター

[5.10.2、3]

シャッターの種類	耐風圧強度
・一般重量シャッター	耐風圧強度（　　　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　　　）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類　※上部電動式（手動併用）・上部手動式
一般重量シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
　鋼板の種類　　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
　　　　　　　　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　めっきの付着量　※Z12又はF12　・

13. 軽量シャッター

[5.11.2〜4]

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（　　）N/㎡
スラットの材質
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　　めっき付着量（※Z06又はF06　・　　　）
　・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム一亜鉛合金めっき鋼板）
　　めっき付着量（※AZ90　・　　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

14. オーバーヘッドドア

[5.12.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧区分（Pa）	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※ステンレス鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板

15. ガラス

[3.7][5.13.2〜4][表5.13.1]

・合わせガラス

品種	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス

品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	・1種　・2種	・ブルー　・グレー　・ブロンズ

・複層ガラス

品種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス	・1種	U1
	・2種	U2
	・3種	・U-3-1　・U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4
	・5種	E5

・熱線反射ガラス

品種	断熱性	耐久性
・熱線反射ガラス 　色調（・ブルー　・グレー）	・1種	A種
	・2種	・A種　・B種
・高性能熱線反射ガラス 　色調（・ブロンズ　・シルバー（3種）・シルバーグレー（2種））	・3種	B種

反射被膜面　・内面　・外面
映像調整　　・行わない　・行う
適用箇所　　・図示（A047,048/147）
　　　　ただし、乙種防火戸にはシルバー（3種）、それ以外はシルバーグレー（2種）を使用する）

設計者	株式会社綜企画設計　九州支社 管理技術者　古元　俊治 1級建築士　278179号	仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修） 改修工事特記仕様書（3） 行橋市役所建築政策課	A-03 H25.8.1版

5 建具改修工事(続き)

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	−
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※改修標準仕様書表5.13.1による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	※改修標準仕様書表5.13.1による ・図示 ・
ステンレス製	※シーリング材 ・	※改修標準仕様書表5.13.1による ・図示 ・

16. ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
・ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り ・外張り	飛散防止率D1
・日射調整フィルム [G]			
・			

品質 JIS A 5759による

6 内装改修工事

1. 改修範囲

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示

2. 既存床の撤去及び下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ・図示 ・改修範囲と同じ

3. 既存壁の撤去及び下地補修

[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
(塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない)
・図示

4. 木下地等の表面仕上げ

[6.5.1]

表面仕上げの種別	適用箇所
・A種	
※B種	
・C種	
・D種	

5. 製材 [G]

[6.5.2]

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
			※2級		※A種・B種	・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
					※A種・B種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
			※1等		※A種・B種	・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			(　　) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・

・代用樹種を使用できない箇所(　　　　)

6. 造作用集成材 [G]

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
			※1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※A種・B種	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種	・

6 内装改修工事(続き)

7. 造作用単板積層材 [G]

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:　　)	・適用する ・適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り (加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(　　)	・適用する ・適用しない	※14%以下	・

8. 床張り用合板等 [G]

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

⊙普通合板 [G]

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	間伐材等の適用
教室等	※5.5 ⊙15	・ラワン ⊙シナ	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	⊙適用する ・適用しない	・適用する ⊙適用しない	・適用する ⊙適用しない	・

⊙構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
教室等	※12 ⊙9	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する (　　) ・適用しない	・

⊙パーティクルボード [G]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
教室等	※15 ⊙20		※13タイプ ・	※P又はM ・	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

9. 接着剤

[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4,5]

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・

10. 防腐・防蟻処理

[6.5.5]

・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位:(　　　　)

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②ア〜エによる
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②ア〜エによる
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②ア〜エによる

・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理
適用部位(　　　　)

11. 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2〜4]

野縁等の種類
屋外(※25形 ・19形) 屋内(※19形 ・25形)
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・

既存の埋込みインサート ⊙使用する ・使用しない
あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う(屋外の場合の方法:　　　)
⊙行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示 ・

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による

・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示 ・

・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・

12. 軽量鉄骨壁下地

[6.7.3] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・

13. ビニル床シート [G]

[6.8.2,3]

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
⊙発泡層のないもの	※FS ⊙TS	仕上表による	⊙無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性 ⊙耐薬品性	※2.0 ・	サンゲツ グラニット 同等品
・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:　　　)
特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上〜3.2未満
又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1×107 〜1×1010 Ω程度
・

14. ビニル床タイル [G]

[6.8.2]

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・KT	仕上表による	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・3.0	
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性	・	

特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上〜3.2未満
又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1×107 〜1×1010Ω程度
・

15. ビニル幅木

[6.8.2]

材質 ⊙軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ⊙100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

16. カーペット敷き [G]

[6.9.3〜4] [表6.9.1]

・織じゅうたん

種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・無地 ・柄物 (標準品)	・適用する (性能: ※人体帯電圧3kv以下 ・　　) ・適用しない	

下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5〜7 ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧3kv以下 ・　　) ・適用しない	
・ループパイル	・4〜6 ・			
・レベルループパイル	・4 ・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーペット
厚さ(mm)(　　)
帯電性 ・適用する(性能: ※人体帯電圧3kv 以下 ・　　)
・適用しない
備考(　　)

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	仕上表による	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・　　)
⊙適用しない

17. 合成樹脂塗床

[6.10.2〜3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			
・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量(kg/m²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・防滑 溶剤 ・水性色・溶剤系・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色・

塗料のホルムルデヒド放散量 ※規制対象外

18. フローリング張り

[6.11.2〜7]

単層フローリング [G]

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード	・釘留め工法 (根太張り)	※なら ・メープル	12	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法 (直張り)	※なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		・
	・接着工法	※なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		
・フローリングブロック	・接着工法	※なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
	・モルタル埋込工法	※なら ・	※15 ・	¥U+203B303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品	・
・モザイクパーケット	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・

天然木化粧複合フローリング [G]

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
⊙複合1種フローリング ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り)	※なら ⊙メープル		・A種 ・B種 ※C種	⊙適用する ・適用しない	⊙塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	※なら ・	板厚 ・8以上 ・ 板幅 ・75以上 板長さ 900以上				・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所　　　)
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・行わない

19. 畳敷き

[6.12.2]

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床: KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン) [G]

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

20. せっこうボードその他のボード張り

[6.13.2〜3]

種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 [G]	HW	・15 ・20 ・25
・中質木毛セメント板 [G]	MW	・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板 [G]	NW	・15 ・20 ・25
・硬質木片セメント板 [G]	HF	・12 ・15 ・18 ・21
・普通木片セメント板 [G]	NF	・30
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) ⊙6 ・8
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ(⊙9(不燃) 12・　) ・凹凸タイプ(・12(不燃) 15 ・19 ・　)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25 ・
⊙グラスウール吸音ボード号32K	GW-B	⊙25(ガラスクロス包) ・
⊙せっこうボード	GB-R	⊙12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5
⊙不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無(下地張り用) 化粧有(トラバーチン模様)
⊙シージングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)
⊙強化せっこうボード	GB-F	⊙12.5(不燃) ・15(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
⊙化粧せっこうボード(木目)	GB-D	6.0(不燃) ※DI Cフネン-WO 7934-01
⊙化粧せっこうボード(指定色)	GB-D	6.0(不燃) ※DI Cフネン-ソリッドカラー D-112, 090
・普通合板 [G]		表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度 ・　　) 不透明塗料塗り (※しな程度・　　) 板面の品質(　　) 厚さ(mm)(　　) 接着の程度(　　) ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・天然木化粧合板 [G]		樹種名(　　) 厚さ(mm)(　　) 接着の程度(　　) ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・特殊加工化粧合板 [G]		化粧加工の方法(・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能(　　)タイプ 厚さ(mm)(　　) 接着の程度(　　) ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※1.2 ・　　)
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティファイバーボード [G]	MDF	・3 ・7 ・9 ・12
・単板張りパーティクルボード [G]		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード [G]		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10(難燃) ・12(難燃) ・
・ハードボード(素地) [G]	HB	・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・ハードボード(化粧) [G]		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード [G]	IB	A級(・天井仕上 ・内装仕上 ・　　) ・9 ・12 ・15 ・18

せっこうボード等の下地は図示による。
遮音シール材 ・適用する(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)
⊙適用しない
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボードの目地工法 ◯・ 仕上げ表による

設計者	株式会社綜企画設計 九州支社 管理技術者 古元 俊治 1級建築士 278179号	仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	A−04
		改修工事特記仕様書(4)	
		行橋市役所建築政策課	H25.8.1版

6 内装改修工事（続き）

21. 壁紙張り

［6. 14. 2～3］

ホルムアルデヒド 放散量　※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	商品名（程度）
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
教室等（掲示用壁紙）	·	·	·	·	·	・ 不燃・　準不燃	サンゲツ　サンフォーム・ベーシック
	·	·	·	·	·	・ 不燃・　準不燃	
	·	·	·	·	·	・ 不燃・　準不燃	
	·	·	·	·	·	・ 不燃・　準不燃	

モルタル・ プラスター面の下地調整　※RB種
コンクリート・ＡＬＣ面の下地調整　※RB種
せっこうボード 面の下地調整　※RB種

22. モルタル塗り

［6. 15. 3、6］

吸水調整材は、改修標準仕様書表4. 2. 2による。
既製目地材　・ 設ける　施工箇所（　　　　　）　形状（ ※図示　・　　　　　）
　　　　　　・ 設けない
床目地　　　・ 設ける（ 工法※押し 目地　・　　　　　）
　　　　　　・ 設けない

23. タイル張り

［6. 16. 2～4］

伸縮調整目地の位置　床タイル　（ ※縦、横とも4m以内ごと　・ 図示　・　　　）
　　　　　　　　　　床タイル以外　（ ・ 図示　・　　　）

・ セメント モルタルによる陶磁器質タイル張り
　タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法（mm）	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用 G	耐凍害性		滑り抵抗性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	
			·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　・ 行わない
見本焼き　・ 行う　・ 行わない

・ 既製調合モルタル
　モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント 、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（ 品質・ 性能・ 試験方法）
　建築材料等品質性能表による

・ 接着剤による陶磁器質タイル張り
　タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法（mm）	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用 G	耐凍害性		滑り抵抗性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	
			·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　・ 行わない
見本焼き　・ 行う　・ 行わない

内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド 放散量
　※規制対象外　・

24. セルフレベリング材塗り

［6. 17. 2～3］

種類　・ せっこう系　・ セメント系
塗厚（mm）　・

25. フリーアクセスフロア

（20. 2. 2）

施工箇所	構　法	寸法（mm）	高さ（mm）	耐震性能	所定荷重（N）	表面仕上げ材	備考
	・ パネル構法 ・ 溝構法	・ 500×500 ・	50	・ 1. 0G ・ 0. 6G	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床タイル ⊙ タイルカーペット ・	
	・ パネル構法 ・ 溝構法	・ 500×500 ・		・ 1. 0G ・ 0. 6G	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ・	
	・ パネル構法 ・ 溝構法	・ 500×500 ・		・ 1. 0G ・ 0. 6G	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ・	

寸法精度
　※標準仕様書20. 2. 2(b)(5)(i)～(iii)による　・
　厚さ　±0. 5mm
　平坦度　パネル周辺部　1. 0mm以下
　　　　　図心と各頂点を結ぶ線上部　2. 0mm以下
表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
床パネルの材質　　※アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等
構成材の材質　・ アルミニウム製　⊙ 鋼製（ 仕上げ：亜鉛めっき ）　・
スロープ及びボーダー　⊙ 製造所の仕様による　・ 図示
配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　⊙ 20～30パーセント　・
　配線取り出し開口　⊙ パネル1枚につき、40mm×80mm　程度の開口1箇所以上
　　　　　　　　　　・ 図示
空調用吹き出し（ 吸い込み）パネル　⊙ なし　・ あり（ 形式、施工箇所：図示）

（ 性能・ 試験方法）
　ローリングロード 性能　・ 適用する　　適用室（　　　　）
　　　　　　　　　　　　※適用しない

　ローリングロード 試験
　　3, 000N：積載荷重1000N時において、最大変形量1. 5mm以下
　　（使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと）
　　5, 000N：積載荷重1000N以上において、最大変形量1. 0mm以下
　　（使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと）

26. 可動間仕切

（20. 2. 3）

構造形式	構成基材の種類 スタッド	パネル	総厚さ（mm）	表面仕上材 材質	厚さ（mm）	パネル表面仕上げ	遮音性（db/500HZ）	防火性能
⊙ スタッド式（内蔵） ・ スタッド式（露出） ・ パネル式 ・ スタッドパネル式	スチール	スチール	60	⊙ 鋼板 ・	・ 0. 6 ・ 0. 8 ⊙ 0. 5	⊙ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ⊙ 36	・ 不燃

パネル内に取付ける建具 ・ あり（ ※図示　・　　　）・ なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

27. 移動間仕切

（20. 2. 4）

構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ（mm）	表面仕上材 材質	パネル表面仕上げ	遮音性（db/500HZ）
・ 平行方向 移動式 ・ 二方向 移動式	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式 ・		・ 鋼板 ・	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り ・	・ 36未満 ・ 36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能　標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
　※取付け全重量の5 倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
　・ 図示

28. トイレブース

（20. 2. 5）

表面材の種類	脚部 形状	ドアエッジ 形状	材質
⊙ 高圧メラミン樹脂系化粧板 ※ 芯材：MDF ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・ 標準 ⊙ R	⊙ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

※参考型番：三和シャッター　TA-30　同等以上

29. 視覚障害者用床タイル

（11. 2. 2）（19. 2. 2）

施工箇所		種類	寸法（mm）	厚さ（mm）
屋内		・ 塩化ビニル製	・ 300×300	・ 7. 0
		・ 磁器質タイル ・ せっ器質タイル	・ 300×300	・
		・ レジンコンクリート 製 ・ コンクリート 製	・ 300×300	・
屋内		・ 磁器質タイル ・ せっ器質タイル	・ 300×300	・
		・ レジンコンクリート 製 ・ コンクリート 製	・ 300×300	・

ブロックパターンは JIS T 9251 による

30. 階段滑り止め

（20. 2. 6）

材種	幅（mm）	取付け工法	端部フラットエンド	
・ ステンレス製（SUS304）ビニルタイヤ入り	・ 約35 ・	※接着工法 ・ 埋込み工法	・ あり	・ ビニル製 ・ ステンレス製
			・ なし	―

31. 床目地棒

（20. 2. 6）

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
　※ステンレス製 □型（幅40程度 ㋐1. 5）　（4－31－1）
　・ ステンレス製 6×12　　・ 黄銅製 6×12　（4－31－2）

32. 手すり

材種	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所	備考
・ 集成材	・ クリアラッカー ・	・ 35 ・ 45 ・		
・ ステンレスパイプ	・ ＨＬ			
・ 鋼製パイプ	・ ＥＰ－Ｇ ・ ＳＯＰ ・			
・ ビニル製ハンドレール	・			

点字表示板（　　　　）箇所
　JIS T 0921に基づく 点字の表示原則及び点字表示方法による
　　※ポリカボネード 製　　大きさ　120×150程度　厚み　0. 1程度
　　・ 塩ビ製　　　　　　大きさ　100×125程度　厚み　0. 1程度

33. ブラインド

（20. 2. 12）

形　式	操作方法	種　類	スラットの材種	スラット幅（mm）	ボックス・レールの材種	寸　法 取付箇所
・ 横型	・ 手動	※ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 ・	※ 25 ・	※鋼製 ・	⊙ 図示 （A041, A042/A147図による）
	・ 電動	―				
・ 縦型	・ 手動	※2 本操作コード式 ・ 1 本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット ・	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	・ 図示 ・
	・ 電動	―				

アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合　G

34. カーテン

（20. 2. 14）

形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ（1.5倍） ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	サンゲツ ボストン 同等品	・図示 ・	一般
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ（2倍） ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	サンゲツ モントルー 同等品	・図示 ・	暗幕

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上

35. ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ（ mm）　・ 90×150　・ 120×80　⊙ 120×150　・ 150×80　・ 図示
材質　⊙ 集成材（ 仕上げ：ＣＬ）
　　　・ アルミニウム製　押出し型材（ 市販品）
　　　　表面処理・　C-1
　　　　・ C-2（ ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー）
　　　　・
　　　　皮膜等の種類　※標準仕様書表14. 2. 1による　・
　　　・ 鋼製（ 仕上げ：　　　　　　　）

36. コーナービード（ 壁ボード出隅保護金物）

材質　　※アルミニウム押出形材差込型　・（　　　　　　）
　　　　※シルバー　　・ 焼付　　・（　　　　　　）
施工箇所　※図示（平面図・ 平面詳細図による）

37. 天井見切縁

材質　　※アルミニウム押出形材　　・ 塩化ビニル製
施工箇所　※仕上表による　・（　　　　　　）

38. 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	⊙ 450×450 ・ 600×600 ・	⊙ 一般形	・ 屋内外用 ⊙ 屋内用	⊙ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	⊙ 額縁タイプ ・ 目地タイプ
		・ 気密形			

（ 品質・ 性能・ 試験方法）
　建築材料等品質性能表による

39. 床点検口

材種	寸法	形式		備考
⊙ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ⊙ 600×600 ・	⊙ 一般形 ・ 密閉形 ・ 結露防止形	・ 屋内外用 ⊙ 屋内用	⊙ 鍵付き ・ 鍵なし

（ 品質・ 性能・ 試験方法）
　建築材料等品質性能表による

40. 仕上塗材仕上げ

（15. 5. 2）

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド 放散量
　※規制対象外　・
仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 内装薄塗材E		・ 砂壁状じゅらく
	・ 内装薄塗材W		・ 京壁状じゅらく
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材		・ 砂壁状
	・ こて塗用軽量塗材		・ 京壁状

7 塗装改修工事

1. 材料

［7. 1. 3］

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド 放散量
　※規制対象外　・
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　　　　　・ 次の箇所を除き防火材料とする。（ 箇所：　　　　　）

2. 下地調整

［7. 2. 2～7］

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
　※塗替え面積の30%　・ 図示　・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	※ＲＢ種	・ RA種・RB種	・
鉄鋼面	※ＲＢ種	RA種	
亜鉛めっき面	※ＲＢ種	RA種	
亜鉛めっき面（ 鋼製建具）	※ＲＢ種	RC種	
モルタル、プラスター面	※ＲＢ種	・ RA種・RB種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート 面（DP以外）、ＡＬＣパネル面	※ＲＢ種	RA種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート 面（DP）、押出成形セメント 板面	・	RA種	・ 行う ・ 行わない
せっこうボード 面及びその他ボード 面	※ＲＢ種	・ RA種・RB種	－

3. 錆止め塗料塗り

［7. 3. 2～3］

錆止め塗料塗り の種別

塗装面			塗料	工程
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	Ａ種	※Ｃ 種
		新規鉄鋼面見え掛り	Ａ種	※Ａ 種
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ 種
	EP-G	塗替え	Ｂ種	※Ｃ 種
		新規鉄鋼面見え掛り	Ｂ種	※Ａ 種
		新規見え隠れ	Ｂ種	※Ｂ 種
亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え	※Ａ 種	※Ｃ 種
		新規鉄鋼面見え掛り	※Ａ 種	※Ａ 種
	EP-G	塗替え	Ｃ種	※Ｃ 種
		新規鉄鋼面見え掛り	Ｃ種	※Ａ 種

④ 塗装

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
⊙ 合成樹脂調合ペイント 塗り（SOP）塗料の種別 ※1種　・ 2種	木部屋外	※B種　・	※ A種
	木部屋内	※B種　・	※ B種
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・ A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種　・	※ B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種　・	※ B種
⊙ クリヤラッカー塗り（CL）		※B種　・ A種	※B種　・ A種
・ フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）		―	―
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）		※B種　・ A種	※B種　・ A種
・ 耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（　　）級	・	A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　　）級	・	A種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・
・ つや有合成樹脂エマルションペイント 塗り（EP-G）	コンクリート面等	※B種　・	※B種　・ A種
	屋内の木部	※B種　・	※ A種
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	※B種　・ A種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種　・	※B種　・ A種
⊙ 合成樹脂エマルションペイント 塗り（EP）		※B種　・	※ B種
・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）		※B種　・	※B種　・ A種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種　・ A種	※B種　・ A種
・ ラッカーエナメル塗り（LE）		※B種　・ A種	※B種　・ A種
⊙ オイルステイン塗り（OS）		―	
・ 木材保護塗料塗り（WP）		※B種　・ A種	※B種　・ A種

つや有合成樹脂エマルションペイント 塗り（ コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
　※改修標準仕様書表7. 9. 1の工程1 の下塗りをしみ止めシーラーとする　・
合成樹脂エマルションペイント 塗りの塗替えの場合のしみ止め
　※改修標準仕様書表7. 10. 1の工程1 の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

・ 高日射反射塗料塗り　G
　下地調整（ 改修標準仕様書表7. 2. 2）　・ RA種　・ RB種　・ RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量（ kg/m²）
塗料塗り	JIS K5675	耐候性屋根用塗料	２種	・ １級 ・ ２級 ・ ３級	塗料製造所の仕様による

5. フッ素樹脂塗装

打放しコンクリート 面保護工法
　（下塗材）　水性　浸透性吸水防止材
　（上塗材）　・ 水性フッ素樹脂クリアー
　　　　　　　・ 水性フッ素樹脂カラークリアー

6. 焼付塗装

素　材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位
・ アルミニウム	・ フッ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック			
・ ステンレス	・ フッ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック			
・ 亜鉛メッキ鋼板	・ フッ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック			

設計者
株式会社綜企画設計　九州支社
管理技術者　古元　俊治
1級建築士　278179号

仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）
改修工事特記仕様書（５）
行橋市役所建築政策課
A－05
H25. 8. 1版

8 環境配慮改修工事

①アスベスト 除去工事 共通事項

石綿作業主任者
石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから選任する。

特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材について排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理させる。

アスベスト 粉じん濃度の測定方法は、改修標準仕様書 9. 1. 1による

専門測定機関は、改修標準仕様書 9. 1. 1(e)による
報告書の作成は、改修標準仕様書 9. 1. 1(d)による

官公署その他への手続き
改修標準仕様書1. 1. 3によるほか、次の必要な手続きを行う。
（1）建築物解体等作業届(所管労働基準監督署)
（2）特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書(都道府県知事又は市長)

洗浄設備
（1）洗眼、うがいの設備を設ける。
（2）更衣設備等を設ける

表示・掲示
改修標準仕様書9. 1. 2(f)による表示・掲示を行う。

作業場の養生
・処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
・全面養生(床及び壁)　対象室(　　、　　、　　)
・部分養生(床及び壁の対象部位＋1m)　対象室(上記全面養生室以外)
㊀処理場所付近をビニルシート等の適切な方法にて養生を行う
アスベスト 含有保温材等の除去については、改修標準仕様書9. 1. 3による。

②アスベスト 成形板の処理等

処理を行うアスベスト 成形板の仕様等

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
・スレート波板		※図示
・サイディング		※図示
・ロックウール吸音板	12	※図示
㊀石綿セメント板	5	※図示
㊀ビニル床タイル	2	※図示
㊀ビニル床シート	2	※図示
・ビニル幅木		※図示
㊀ケイ酸カルシウム板	5	※図示
・軟質木毛セメント板		※図示

施工調査　※行う(改修標準仕様書9. 1. 1(d)による)　㊀行わない　[9. 1. 1]

調査対象アスベスト成形板の種類		
・スレート波板	・ロックウール吸音板	・ビニル床タイル
・スレートフレキシブル板	・けい酸カルシウム板	・ビニル床シート
・スレート平板	・スラグ入石こうボード	・ビニル幅木
・スレート軟質板	・石綿セメント板	・無機質系壁紙
・住宅用屋根スレート	・化粧けい酸カルシウム板	・
・サイディング	・石綿セメント円筒	・
・押出成型セメント板	・	・

・アスベスト 含有建材の石綿含有率測定
※　JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
・(　　　　　　　　)

材料名	定性分析	定量分析
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)

アスベスト 粉じん濃度測定　[9. 1. 1]
・行わない
・行う(下表による)
測定室(・　　・　　・　　)

測定時期	測定場所	室名(　) 測定点	室名(　) 測定点	備考
処理作業前	処理作業室内	(　)点	(　)点	
	施工区画周辺又は敷地周辺	(　)点	(　)点	
処理作業中	処理作業室内	(　)点	(　)点	
	セキュリティーゾーン入口	(　)点	(　)点	
	負圧・除じん装置の排出口	(　)点	(　)点	
	施工区画周辺又は敷地周辺	(　)点	(　)点	
処理作業後	処理作業室内	(　)点	(　)点	
	施工区画周辺又は敷地周辺	(　)点	(　)点	
測定点合計		(　点)		

3. 吹付けアスベスト の処理

[9. 1. 1]
吹付けアスベスト の施工調査　※行う

アスベスト 含有分析調査　・行う
※JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
・(　　　　　　　　)

材料名	定性分析	定量分析
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)
・	・(検体数:　)	・(検体数:　)

試料採取箇所　※図示　・(　　　)

アスベスト 粉じん濃度測定
※行う

測定時期	測定場所	室名(　) 測定点	室名(　) 測定点	備考
処理作業前	処理作業室内	(　)点	(　)点	
	施工区画周辺又は敷地周辺	(　)点	(　)点	
処理作業中	処理作業室内	(　)点	(　)点	
	セキュリティーゾーン入口	(　)点	(　)点	
	負圧・除じん装置の排出口	(　)点	(　)点	
	施工区画周辺又は敷地周辺	(　)点	(　)点	
処理作業後	処理作業室内	(　)点	(　)点	
	施工区画周辺又は敷地周辺	(　)点	(　)点	
測定点合計		(　点)		

測定室(・　　・　　・　　)
測定点(・表による　・各測定場所毎1ヶ所 合計8点)

8 環境配慮改修工事(続き)

アスベスト 含有吹付け材の除去　[9. 1. 3]
除去対象範囲　※図示
除去工法　※[9. 1. 3](b)(1)(i)〜(iv)による
除去したアスベスト 含有吹付け材の処理
※密封処理
・セメント固化

4. アスベスト 含有保温材等の処理

[9. 1. 1]
アスベスト 含有保温材等の施工調査　※行う
処理を行うアスベスト 含有保温材等の仕様等

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
・アスベスト 含有保温材		※図示
・アスベスト 含有耐火被覆板		※図示
・アスベスト 含有断熱材		※図示

5. 断熱材 G

[9. 3. 2][9. 5. 2]
フェノールフォームのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品

・打込み断熱材

材種	発泡剤の種類	種類	厚さ
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種		
※押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	※保温板2種b(一般部) ・保温板3種b(接地部分)	※25　・(　) ・(　)
・硬質ウレタンフォーム	A種		
・フェノールフォーム	A種		

既存外壁の処置　[9. 3. 3]
既存外壁の仕上材の撤去　・行う
下地面の清掃　・行う
下地面欠損部の改修工法(　　　　　　)

通気層　・有(厚さ　　　)
・

現場発泡断熱材(A種1)　[9. 5. 3]

難燃性	厚さ(mm)	施工箇所
難燃性を有すること	・25 ・(　)	※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・

6. 屋上緑化改修工事 G

[9. 6. 1, 2, 3]
植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム　※適用する　・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示

(品質・性能・試験方法)
建築材料等品質性能表による

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1　・1.15　・1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない

かん水装置　・設置する(種類　・　　・　　)
既存保護層の撤去　・行う　・行わない

支柱　・設置する　(種類　・図示　・　　)

7. 透水性アスファルト 舗装改修工事

[9. 7. 2、3、5〜9]
適用範囲: 歩道
既存舗装の撤去及び再利用　※図示
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・

路床安定処理
※添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号　・1号)　・消石灰(・特号　・1号)

添加量　kg/m^3(目標CBR　・5以上　・　　)
・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m²以上　・
厚さ(mm)　・0.5〜1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10 cm/sec以上　・
試験
砂の粒度試験　・行う　・行わない
路床土の支持力比(CBR)試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ　・図示　・
路盤材料　※再生材のクラッシャラン G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・
・図示
試験
路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

舗装

材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト	・図示

試験
透水性アスファルト 混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

8 環境配慮改修工事(続き)

8. 排水性アスファルト 舗装 G

(22. 8. 2、3、6)

区分	種類	材料	厚さ(mm)
表層	・排水性舗装用アスファルト混合物 ・	・ポリマー改質アスファルトII型 ・	・図示 ・
基層	・加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物) ・	・再生アスファルト G ・ストレートアスファルト	・図示 ・

舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの
試験
アスファルト 混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

9. 路盤

(22. 2. 2、3、5)(表 3. 2. 1)
路盤の厚さ　・図示　・
路盤材料　・砕石 C-40
・再生クラッシャラン G RC-40
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G CS-40
・
・図示
試験
路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

14. PCB含有シーリング材

・サンプリングの採取(1次分析用)
現場においてサンプルを採取する
採取箇所　※外壁目地　・図示　・(　　　)
採取箇所数　※部材が異なる毎に1箇所　・(　)箇所

・サンプリングの採取(2次分析用)
・現場においてサンプルを採取する
採取箇所　※外壁目地　・図示　・(　　　)
採取箇所数　・(　)箇所
・発注者より貸与する
分析個数　・(　)箇所

1) 採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う
2) シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断し、ただちにポリエチレン製の密封袋に保管し、No. 及び採取場所を記入する。サンプルは1袋に1つずつ入れること。
3) カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に換えること。
4) シーリング材を切除した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による。
5) 皮膚との接触等を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。
6) 休憩時及び作業終了後には必ず手洗いを行う。
7) 作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密封袋に入れる。

・サンプルの分析
・1次分析(シーリング種類の調査)
「シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定依頼書」を作成し、採取したサンプルと併せて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと。
・2次分析(PCB含有率調査)
専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと。

・施工調査等
調査範囲　※図示　・(　　　)
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと
シーリング使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

・除去処理工事
PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」並びに「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(平成13年法律第65号)」により適切に行うこと。
1) 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を得ること。
2) シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、作業区域からの飛散防止措置をとること。
3) 作業員は保護マスク及び保護手袋を着用すること。
4) シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する。
5) 除去工事終了後、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れ保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管量、保管場所を考慮し、監督職員の承諾を得たものとする。
6) 除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること。
7) 工事着工後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員と協議する。

その他特記事項

① 鋼製床組

三洋工業　スリーベース601型
桐井製作所　GTダイレクト　同等品

2. セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等　(11. 2. 2、3、7)

施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	滑り抵抗性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・MCR工法　・目荒し工法(高圧洗浄)
壁タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能・試験方法)
建築材料等品質性能表による

3. ステンレス流し台

※優良住宅部品(セクショナルキッチン)　・(　　　　)
上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

寸法	開戸	引き出し	備考
・W1200×D550〜600×H800	※3枚　・(　)	※1段　・(　)	サイドパネル付
・W1500×D550〜600×H800	※4枚　・(　)	※1段　・(　)	
・W1800×D550〜600×H800	※4枚　・(　)	※1段　・(　)	

4. コンロ台

※優良住宅部品(セクショナルキッチン)　・(　　　　)
テーブルトップはステンレス製、バックガード(※有り　・無し)

寸法	開戸
・W700×D550〜600×H620	※2枚　・(　)
・W600×D550〜600×H620	※1枚または2枚　・(　)

5. 吊戸棚

※優良住宅部品(セクショナルキッチン)　・(　　　　)

寸法	開戸	棚板
・W1800×D350〜450×H500	※2枚　・(　)	※1段　・(　)
・W600×D350〜450×H500	※2枚　・(　)	※1段　・(　)

6. 水切棚

※既製品　ステンレス製一般型　・(　　　　)

別表－１　　工事区分表（一般的な工事区分を示す）

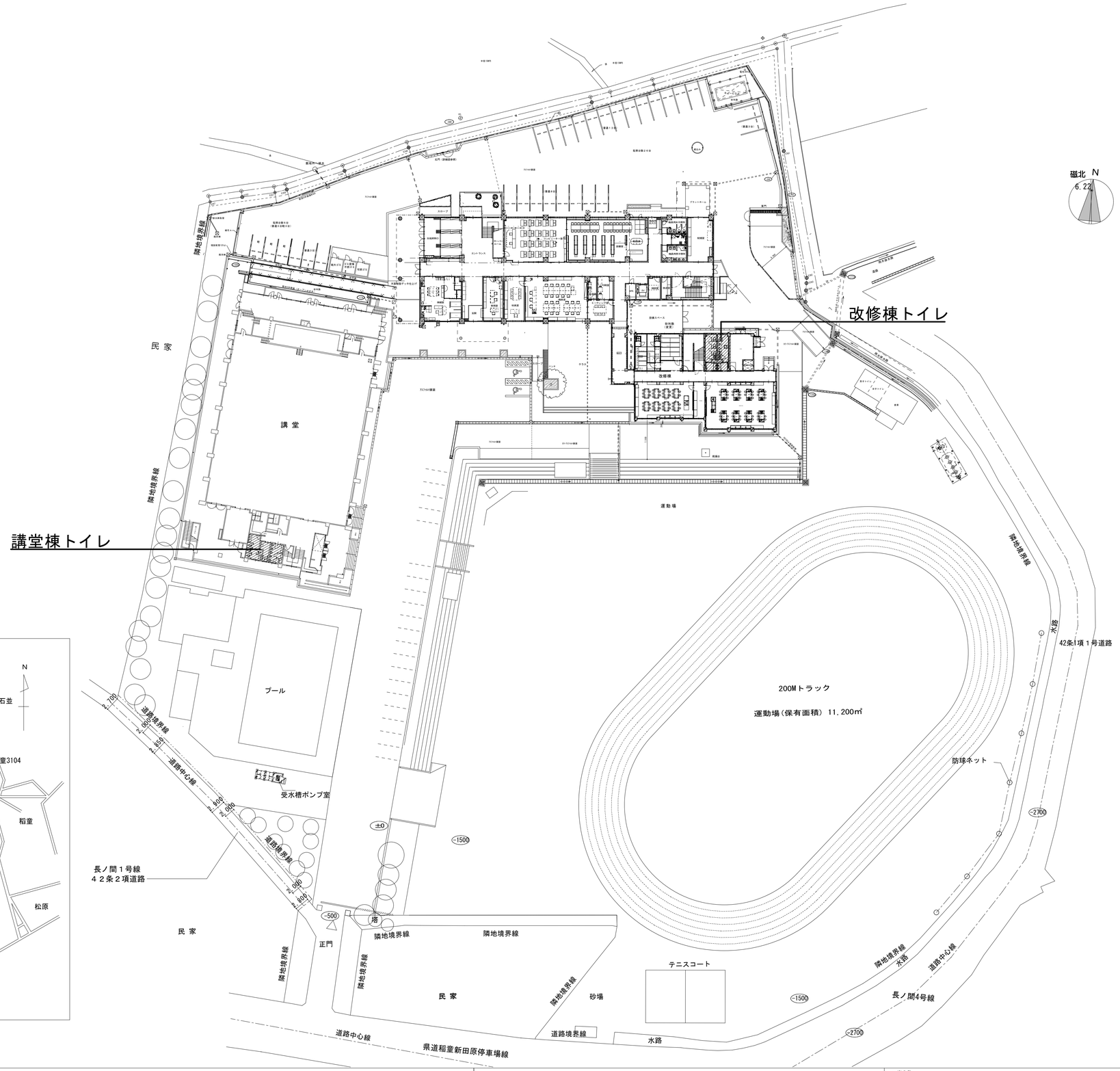
工事内容				建築	電気設備	機械設備
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		○	
			屋外		○	
			屋上	○		
		自家発電機の基礎		○		
		テレビアンテナ基礎		○		
		避雷針の基礎		○		
		架台・アンカーボルト			○	
		ソーラーパネル基礎		○		
	機械関係	屋内設置				○
		屋上設置（防水立上りを設ける部分）		○		
		屋上設置（上記以外）				○
		屋外設置				○
		架台・アンカーボルト				○
開口部	梁の貫通部		補強	○		
			スリーブ	○	○	○
			型枠	○		
	RC造床及び壁の貫通部		補強	○		
			スリーブ	○	○	○
			型枠	○		
	デッキプレートの貫通部		補強	○		
			切込			
	軽量鉄骨下地天井及び壁の開口部		補強	○		
			補強を要する切込	○		
			補強を要しない切込		○	○
	埋込形盤類及び、箱類の型枠			○		
	上記の開口部の墨出し（※1）			○	○	○
	穴埋め補修（型枠の穴埋めを含む）（※1）			○	○	○
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの複合ｱｳﾄﾚｯﾄ用開口（工場加工）			○		
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの予備開口（工場加工）及びﾌﾟﾚｰﾄ			○		
	※1）墨出し、穴埋め補修は、スリーブ工事を行う施工者が実施する。					
点検口	床、壁、天井			○		
外部取付ｶﾞﾗﾘ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む			○		
湯沸室のフード				○		
換気扇	本体					○
	取付枠			○		
流し台	本体（排水トラップ共）			○		
	水栓					○
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤		自家発用			
	タンク基礎		空調用			
地下タンク貯蔵所		地下貯蔵タンク	自家発用			
			空調用			
		タンク室（躯体、土工事）		○		
床下各種水槽等のマンホールふた						○
屋外排水管	雨水			○		
	汚水、雑排水					○
雨水立管　　（たてどい）				○		
便所手すり				○		
便所手すり（ユニットタイプに含まれる場合）						○
はめ込形洗面器用カウンター（前板共）						○
鏡						○
ガスボンベ転倒防止用の鎖						○
電気配管配線	機器などへの１次側配管配線及び接続				○	
	機器などから操作ｽｲｯﾁ等への２次側配管及び埋込ﾎﾞｯｸｽ				○	
	機器などから操作ｽｲｯﾁ等への２次側配線及び接続			○	○	○
	自動制御盤と動力盤との渡り配管配線				○	
	個別ﾊﾟｯｹｰｼﾞの室内機、室外機の渡り配線（接地共）					○
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ﾀﾞﾝﾊﾟに至る配管配線				○	
	小便器用節水装置の制御盤以降の２次側の配管配線					○
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの複合ｱｳﾄﾚｯﾄ取付及び配線				○	
	防火扉レリーズ				○	
	電極棒					○
ガス漏れ検知器					○	
電気錠	電気錠及び通電金具					
	ＴＥＮキー及び制御盤					
エレベーター出入口三方枠（金属製）						
エレベーター出入口三方枠（石製）						
シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン				○		○
システム天井	ボード・ﾊﾞｰ					
	照明ライン設備プレート					
	空調ライン設備プレート					
灌水装置（植栽用）	灌水コントローラー					
	灌水ボックス					
	灌水コントローラーまでの１次側配管配線及び接続					
	灌水ボックスまでの１次側給水配管及び接続					

別表－２

品　目	対象材料名
床型枠用鋼製デッキプレート	標準仕様書、6章9節に規定する床型枠鋼製ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄを対象
鉄骨柱下無収縮ﾓﾙﾀﾙ	標準仕様書、7章2節に規定する無収縮ﾓﾙﾀﾙを対象
無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材	改修標準仕様書、8章2節に規定する無収縮ｸﾞﾗｳﾄ材とし ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ形及び現場調合形を対象
乾式保護材（防水立上部）	標準仕様書、9章2節に規定する乾式保護材を対象
既製調合ﾓﾙﾀﾙ（ﾀｲﾙ工事用）	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合ﾓﾙﾀﾙを対象
既製調合目地材	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合目地材とし、主として外装用を対象
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	標準仕様書、13章5節に規定するﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝとしｺﾝｸﾘｰﾄ打ち込みﾀｲﾌﾟを対象
吸水調整材（ﾓﾙﾀﾙ用）	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合ﾓﾙﾀﾙを対象
ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具	標準仕様書、16章2節に規定するｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具とし一般的なﾋﾞﾙ用建具を対象。新たに形材を製作するものや金属ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ及び防音ｻｯｼは対象外。但し、断熱ｻｯｼについては③（Cｍ種におけるH-3以上）を対象 ①70-200-8-35（A種） ②70-240-8-35（B種） ③100-280-2-50（C種）
鋼製建具	標準仕様書、16章3節に規定する鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）を対象とし、建具の分類は下記による ①鋼製建具（簡易気密型を除く） ②鋼製建具（簡易気密型）
鋼製軽量建具	標準仕様書、16章4節に規定する鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）を対象とし、建具の分類は下記による ①鋼製建具（簡易気密型を除く） ②鋼製建具（簡易気密型）
ｽﾃﾝﾚｽ製建具	標準仕様書、16章5節に規定するｽﾃﾝﾚｽ製建具を対象とし、簡易気密型は対象外
錠前類	標準仕様書、16章7節に規定する錠前類及び標準型建具用のﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙを対象とし、下記による ①ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠（ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠）標準型建具用を含む（ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ）標準型建具用 ②ｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠
ｸﾛｰｻﾞｰ類	標準仕様書、16章7節に規定するｸﾛｰｻﾞｰ類を対象とし下記による ①ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ（標準型建具用を含む） ②ﾋﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞｰ ③ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ
自動扉機構	標準仕様書、16章8節に規定するｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ用及びｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ用自動ﾄﾞｱ開閉装置を対象とし、分類は下記による ①駆動装置・制御装置（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ、ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱに適用） ②検出装置（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ、ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱに適用）
自閉式吊り引き戸機構（手動開き式）	標準仕様書、16章9節に規定する自閉式上吊り引戸装置とし、主として身体障害者等が使用する一般庁舎等の事務室出入り口、屋内用、屋外用の身体障害者用便所の出入り口を対象
重量ｼｬｯﾀｰ	標準仕様書、16章10節に規定する重量ｼｬｯﾀｰを対象とし種類は下記による ①用途による種類：一般重量ｼｬｯﾀｰ、外部用防火ｼｬｯﾀｰ、屋内防火ｼｬｯﾀｰを対象とし、防炎ｼｬｯﾀｰは対象外 ②開閉機能による種類：上部電動式（手動併用）及び上部手動式を対象 ③ｽﾗｯﾄの形式による種類：ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形を対象とし、ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形は対象外
軽量ｼｬｯﾀｰ	標準仕様書、16章11節に規定する軽量ｼｬｯﾀｰを対象とし開閉機能による種類は上部電動式（手動併用）、手動式を対象
ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ	標準仕様書、16章12節に規定するｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱを対象とし、種類は下記による ①ｾｸｼｮﾝ材料による種類：ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ、ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ、ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟを対象 ②開閉方式による区分：ﾊﾞﾗﾝｽ式、ﾁｪｰﾝ式、電動式を対象 ③強さによる区分：JISA4715「ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ構成部材」による強さの区分50、75、100,125を対象 ④収納形式による区分：ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形、ﾛｰﾍﾟﾄﾞ形、ﾊｲﾘﾌﾄ形、ﾊﾟｰﾃｨｶﾙ形を対象
防水剤	標準仕様書、15章2節に規定する建具廻り等に使用するﾓﾙﾀﾙに混入する防水剤を対象
現場発泡断熱材	標準仕様書、19章9節に規定する現場発泡断熱材を対象
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ	標準仕様書、20章2節に規定するﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱとし、使用用途は一般庁舎等を対象とし、分類は下記による ①3000N ②5000N
可動間仕切	標準仕様書、20章2節に規定する可動間仕切を対象とし国土交通省大臣認定の「耐火構造間仕切」及び構造形式の空間の仕切り方のうち床置き形は対象外
移動間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ）	標準仕様書、20章2節に規定する移動間仕切を対象とし主として一般庁舎を対象
ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	標準仕様書、20章2節に規定するﾄｲﾚﾌﾞｰｽを対象とし主として一般庁舎を対象
煙突用ﾗｲﾆﾝｸﾞ材	標準仕様書、20章2節に規定する煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材とし、ｺﾝｸﾘｰﾄ打込みを対象

品　目	対象材料名
天井点検口	標準仕様書、14章4節に規定する軽量鉄骨天井下地等に取付ける天井点検口を対象。また外部軒天井に使用する場合は、その対応が可能なものを対象とする
床点検口	一般庁舎等の屋内及び外部玄関ﾎﾞｰﾁ部分の歩行用としｺﾝｸﾘｰﾄ床ｽﾗﾌﾞ用を対象とし、寸法は600角程度までとする
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	主として、一般庁舎の構内に使用する下記のｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞを対象とし、材質、用途による分類は下記による ①材質による区分 ・鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ ・ｽﾃﾝﾚｽ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ ②用途による区分 ・溝ふた（横断用、側溝用）、ますふた用、かさあげ用 U字側溝を対象とし、大ｽﾊﾟﾝ用及び荷重種別T-25用並びに床板用は対象外
人工屋上緑化ｼｽﾃﾑ	標準仕様書、23章5節屋上緑化及び改修標準仕様書9章6節に規定する屋上緑化改修工事を主とし、区分は下記による ①屋上緑化ｼｽﾃﾑ（板状成形品ﾀｲﾌﾟ） ②屋上緑化軽量ｼｽﾃﾑ
ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ	一般庁舎の屋上に単体で設置するもので、ｶﾞﾗｽ等を採光部に用いた小規模の既製金属部材による製品（開口部は最大2,000mm角または、長辺が3,000mmまでのもの）とし、30分以上の耐火性能を有するものを対象。また、耐火性の無い、透光性の合成樹脂系成形ﾄﾞｰﾑ等を持つ製品であっても、下部に網入りｶﾞﾗｽを用い、30分以上の耐火性能を有するものは対象。ただし、大型のｱﾄﾘｳﾑや、特別の形状を持つ特注品及び上部に人が乗ることを想定したものは対象外
ｴﾎﾟｷｼ樹脂	改修標準仕様書、4章2節に規定するｴﾎﾟｷｼ樹脂を対象とし、その種類は下記による ①可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ②ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ③ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	改修標準仕様書、4章2節に規定するﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙを対象
鋳鉄製ふた（ﾏﾝﾎｰﾙふた、弁桝ふた）	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）の当該事項に規定するﾏﾝﾎｰﾙふた・弁桝ふたを対象

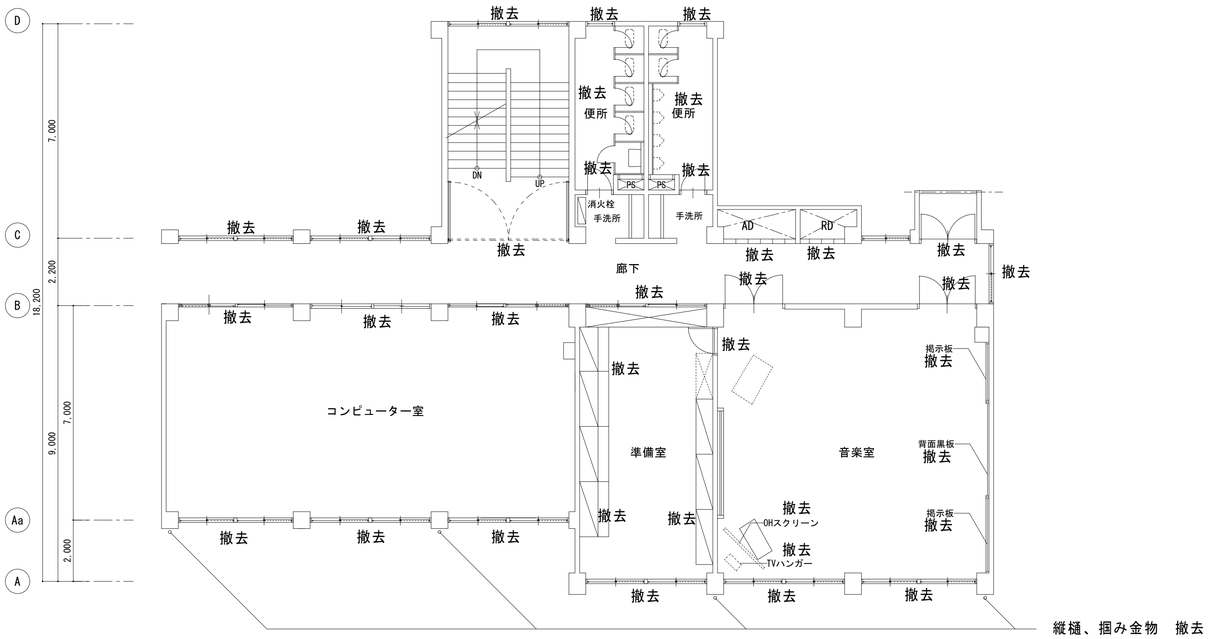
設計者	株式会社綜企画設計　九州支社 管理技術者　古元　俊治 1級建築士　278179号	仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修） 工事区分表・材料、機材等の品質及び性能 行橋市役所建築政策課	A－０７ H25.8.1版



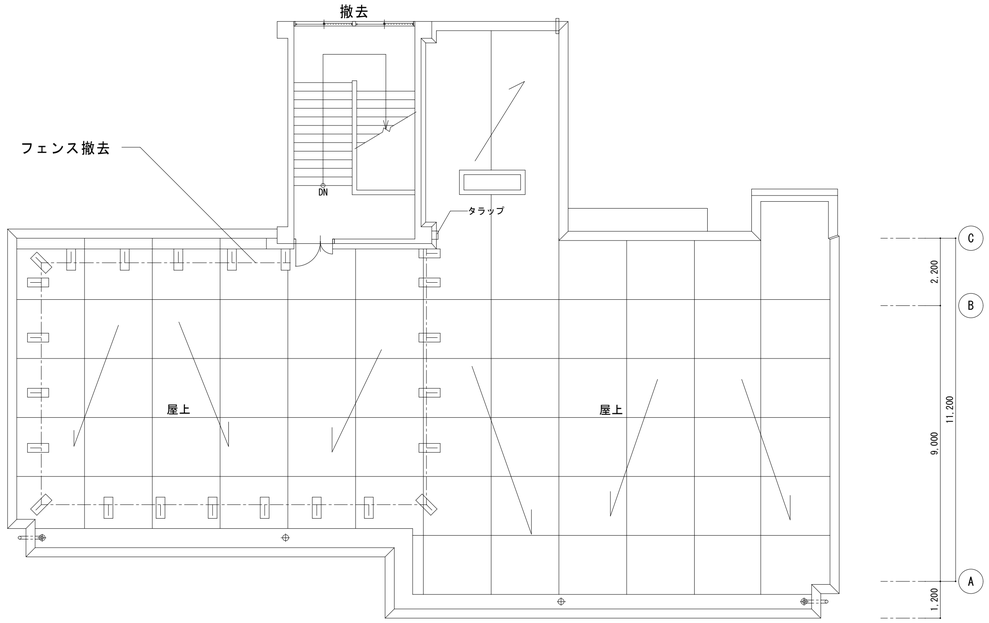
附近見取図

凡例

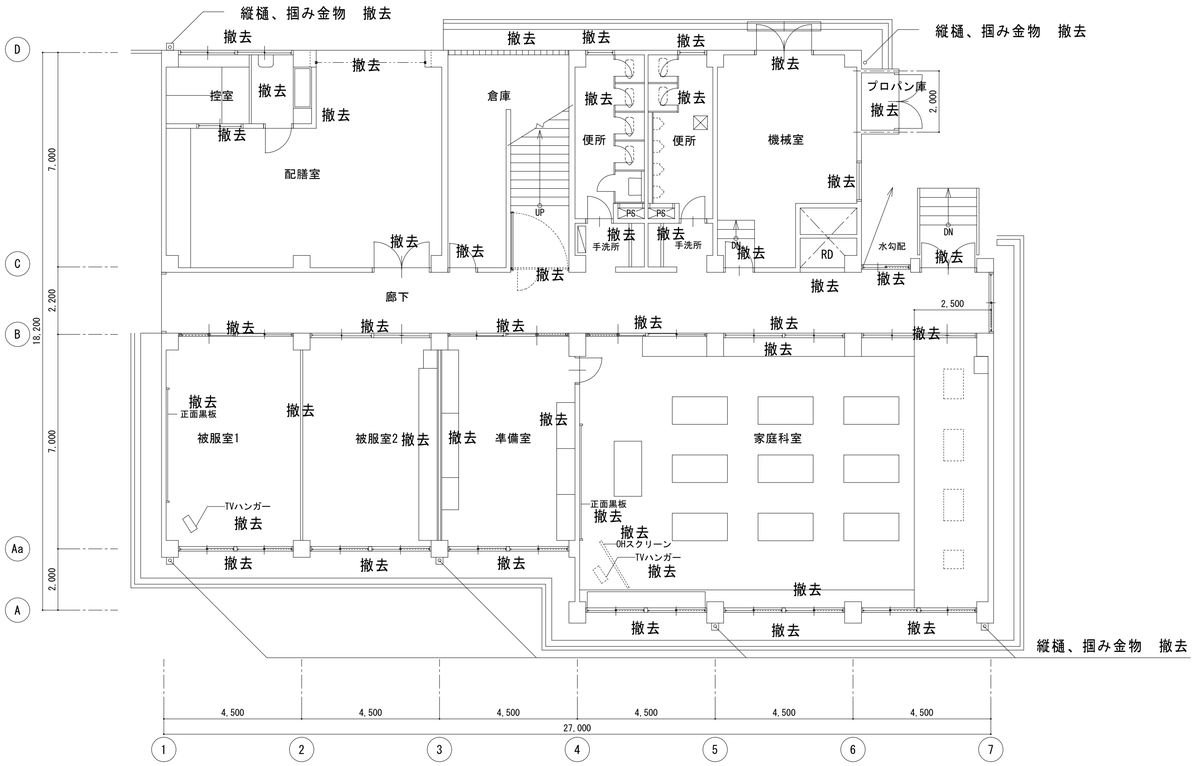
工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）			設計年月
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士（大臣）第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	図面名称 配置図・１階平面図	縮尺 A1：1/400 A3：1/800	図面番号 Ａ－０８



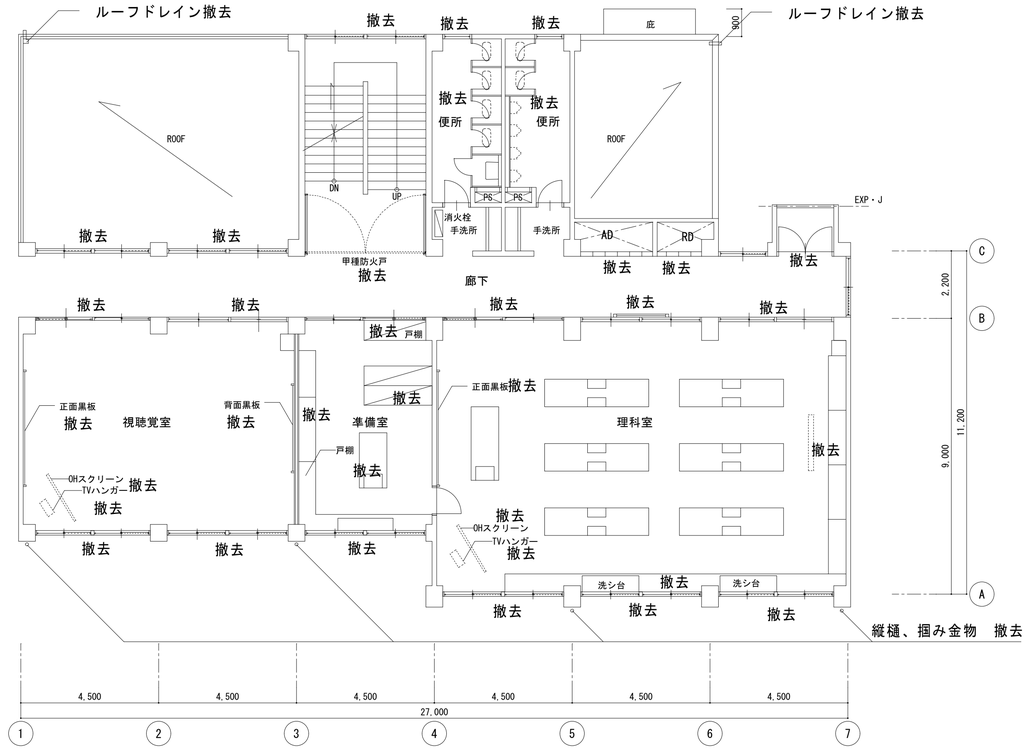
3階平面図　1/100



R階平面図　1/100



1階平面図　1/100

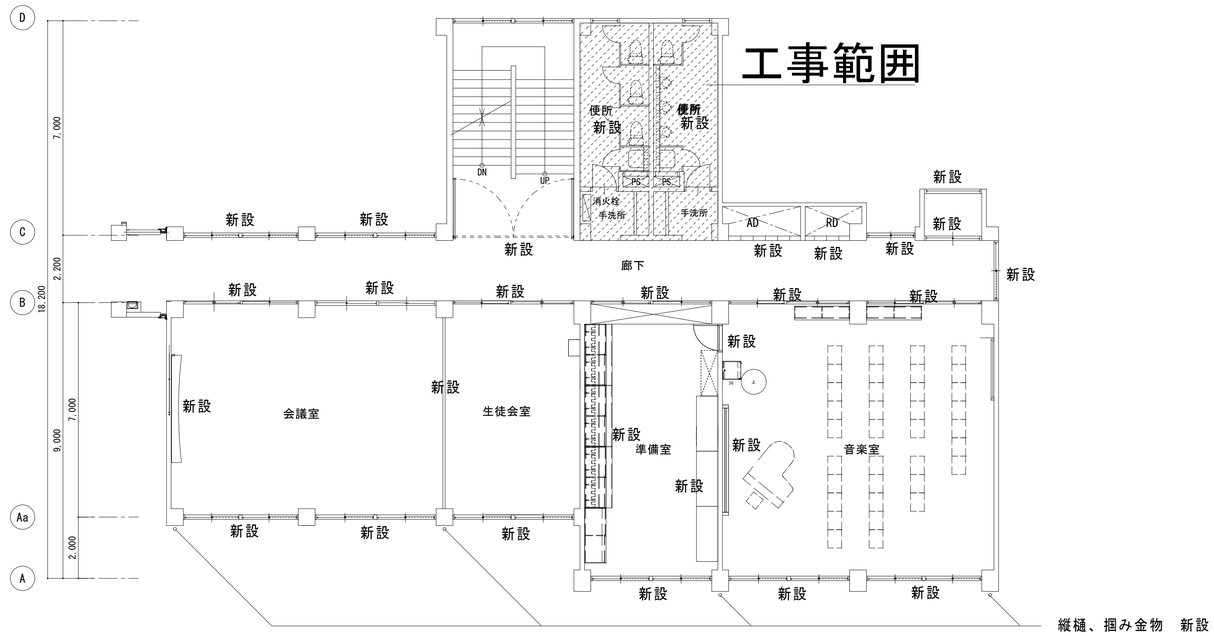


2階平面図　1/100

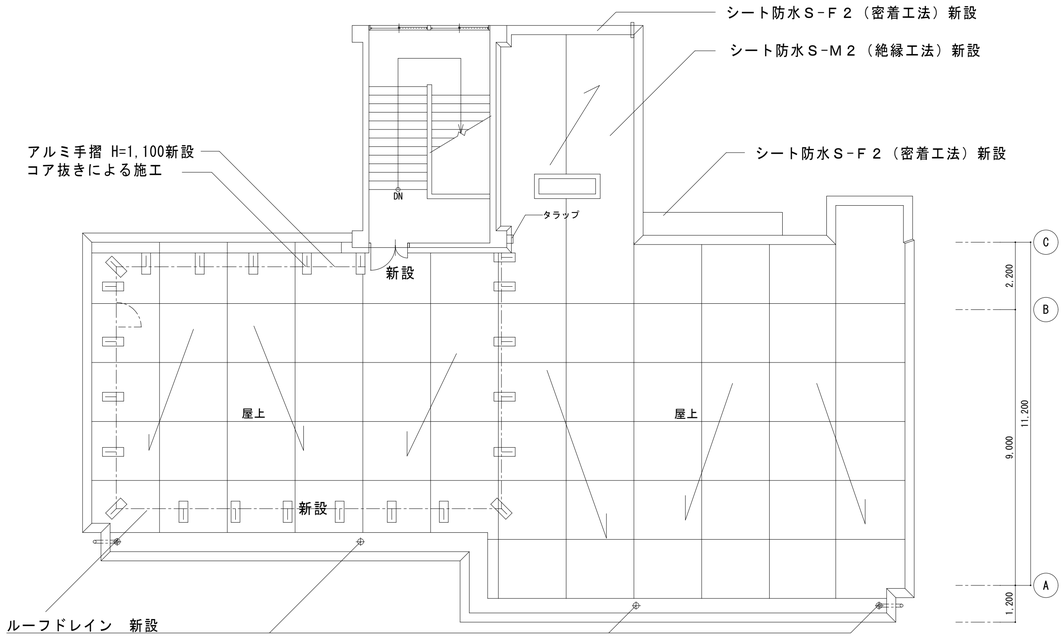
※撤去工事は本体改修工事の範囲

凡例

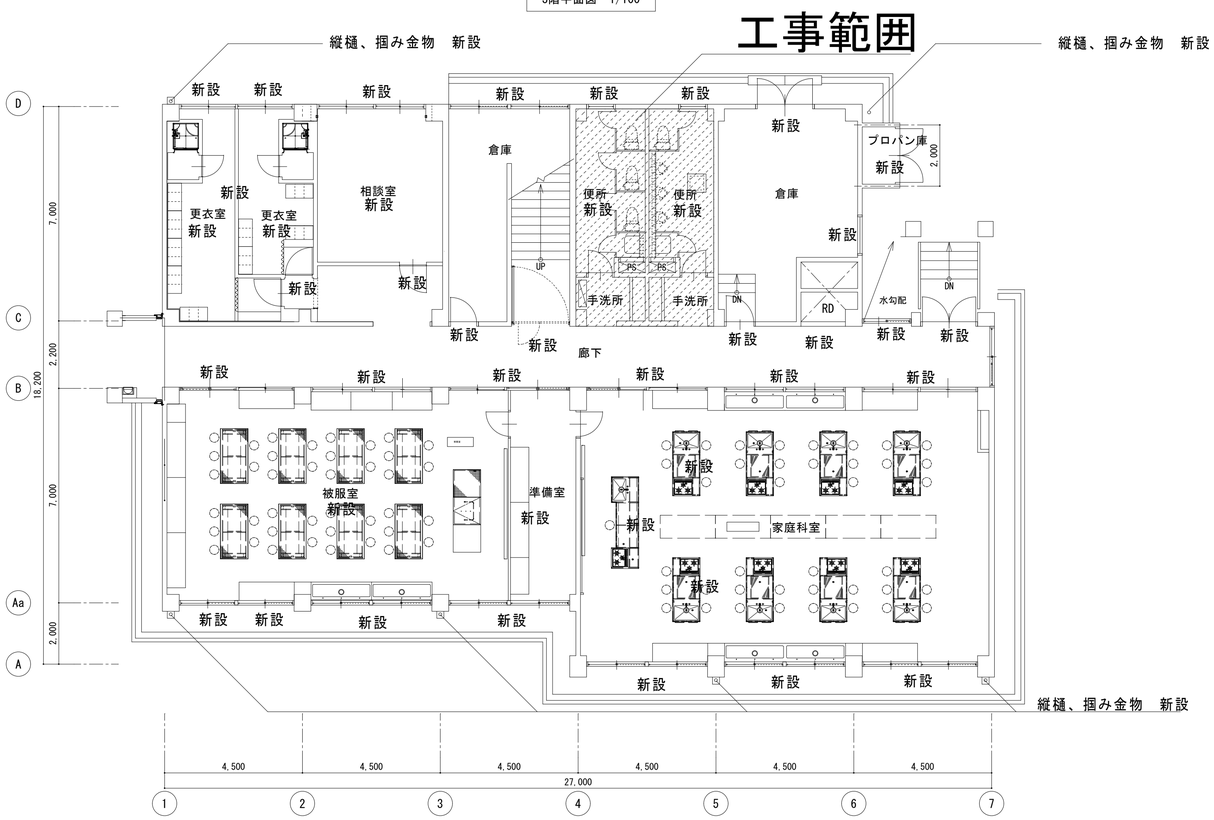
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印	工事名称：仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称：校舎棟　各階平面図（改修前）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200
			図面番号 A－09



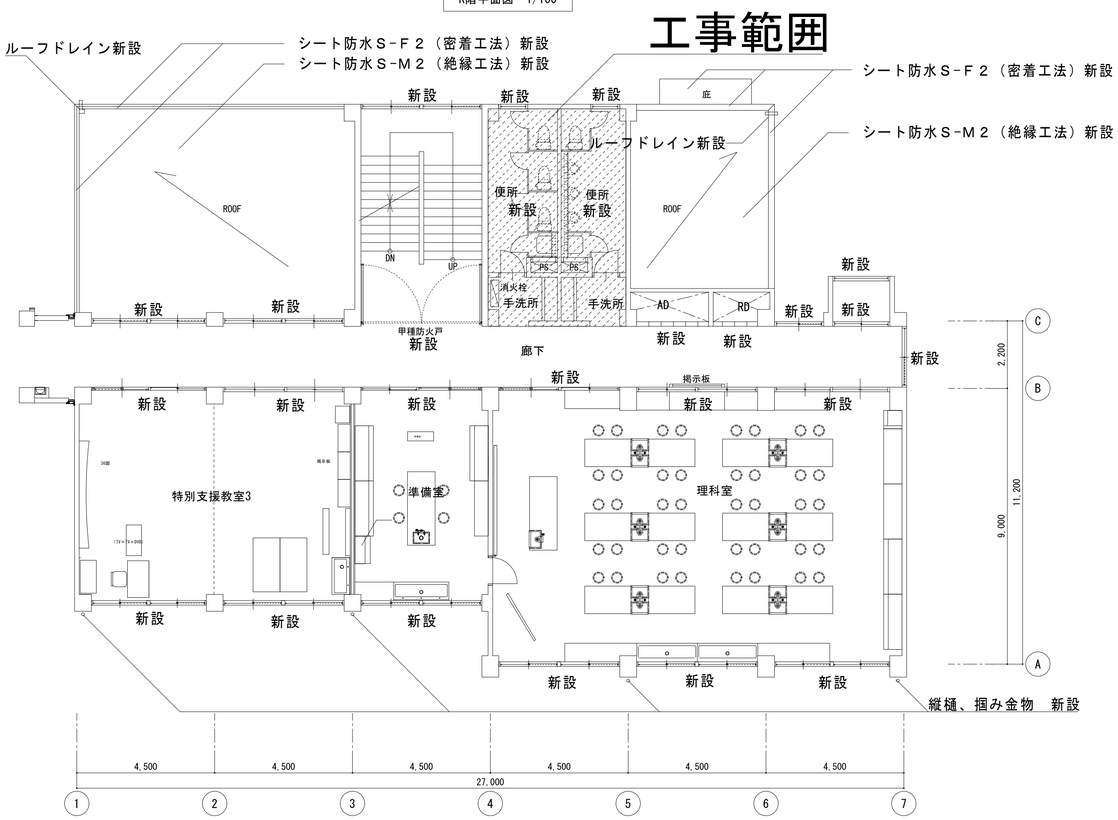
3階平面図　1/100



R階平面図　1/100



1階平面図　1/100



2階平面図　1/100

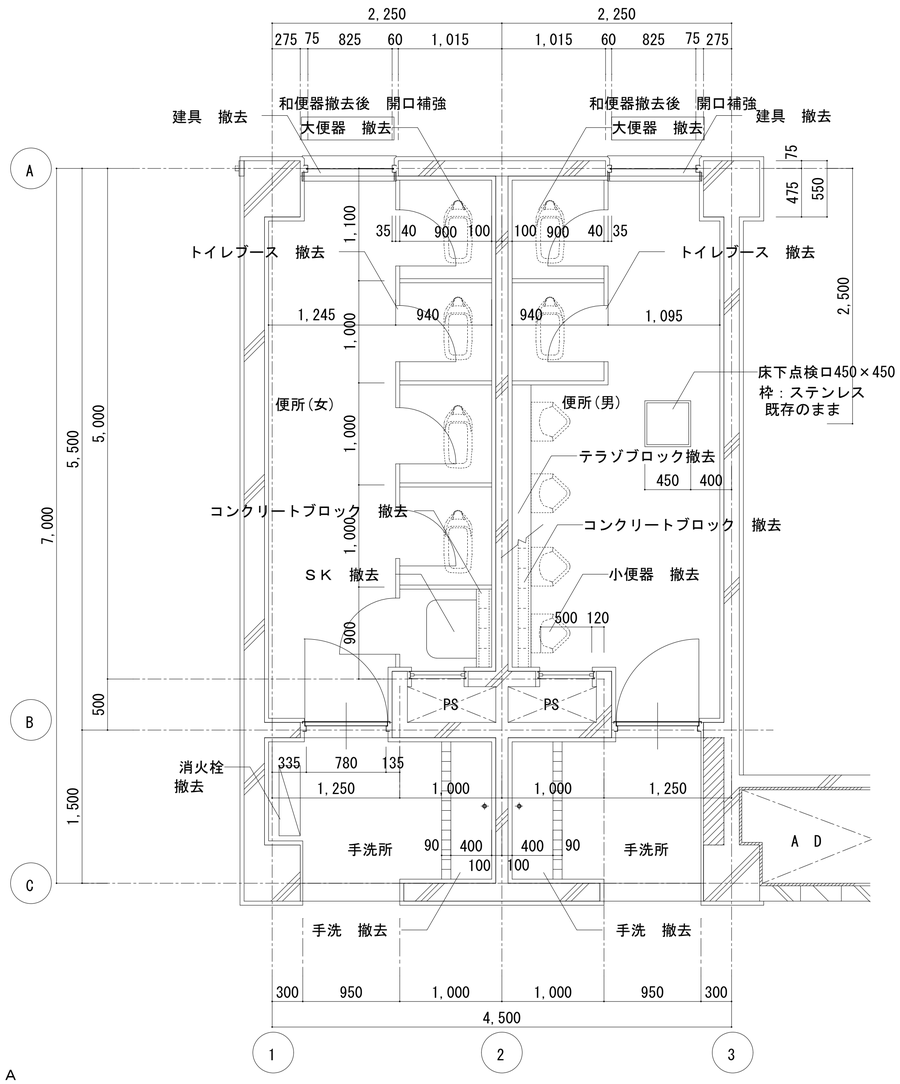
※その他改修工事は本体改修工事の範囲

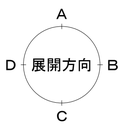
凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	工事名称：仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称：校舎棟　各階平面図（改修後）	縮尺：A1：1/100　A3：1/200
			図面番号：Ａ－１０

改修前

※撤去は本体改修工事の範囲

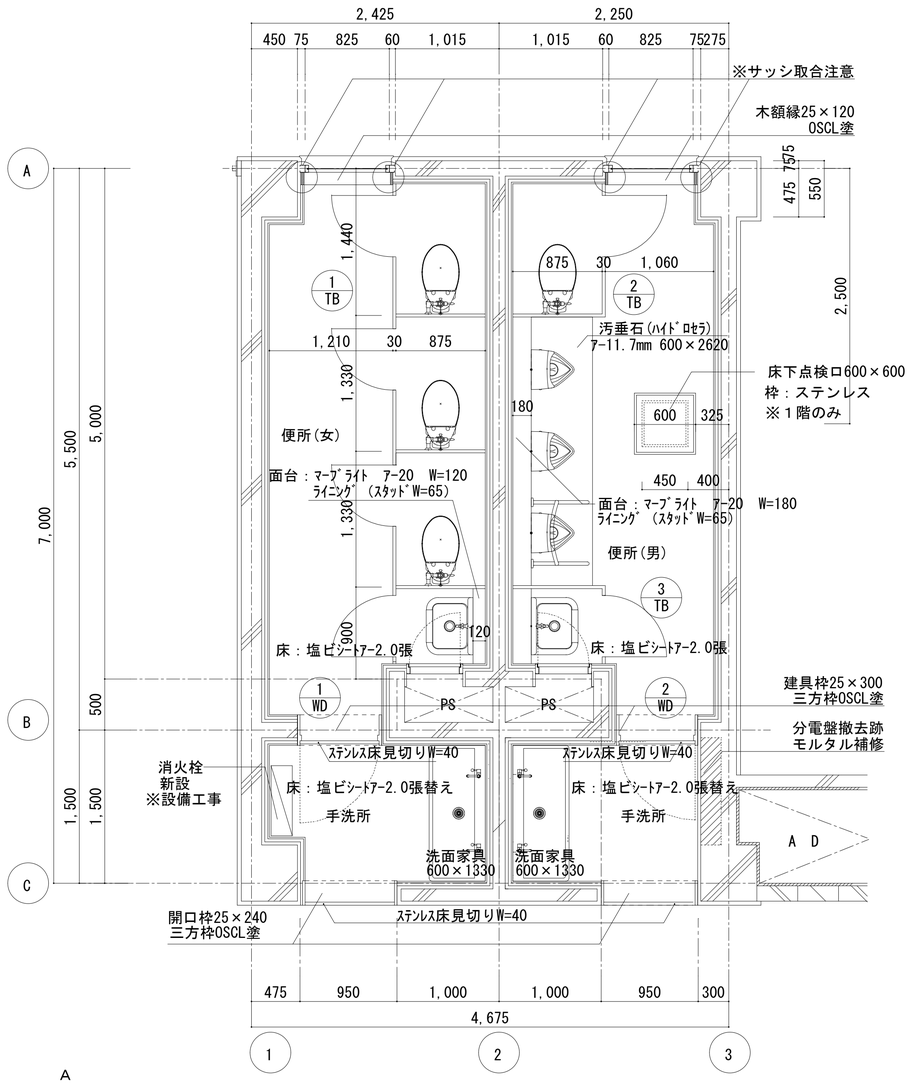


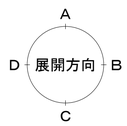


手洗所・便所1-3階平面詳細図　1/50

改修後

改修棟便所（改修後）			
床	トイレ部分 床：長尺塩ビシート貼　72.0 捨張：耐水合板 t=12 シートパネル　t=20 支持脚：クッションKG 手洗部分 床：長尺塩ビシート貼替え　72.0 仕上げ撤去の上ｹﾚﾝ	天井	化粧石膏ボード9.5 LGS下地組 既設仕上撤去後（下地共）
		廻縁	塩ビ
巾木	ソフト巾木　Ｈ＝60	備考	トイレブース　手洗い
腰壁 壁	化粧ケイカル板張ｱ6.0 (※参考型番：DICフネンWO-6mm) 下地耐水ラワン合板ｱ9.0 下地軽量胴縁組（カビノン工法） 既設壁タイル撤去、ケレンの上		化粧ケイカル板　左右２R巻込み突付け仕上げ （平、出隅、入隅　とも） (※参考型番：DICフネンWO 木口標準仕様)
			鋼製ライニング軽量鉄骨W65 器具取付部分補強の事
		室名札 新設	ピクトサイン：プリズムプレート 218*154*150





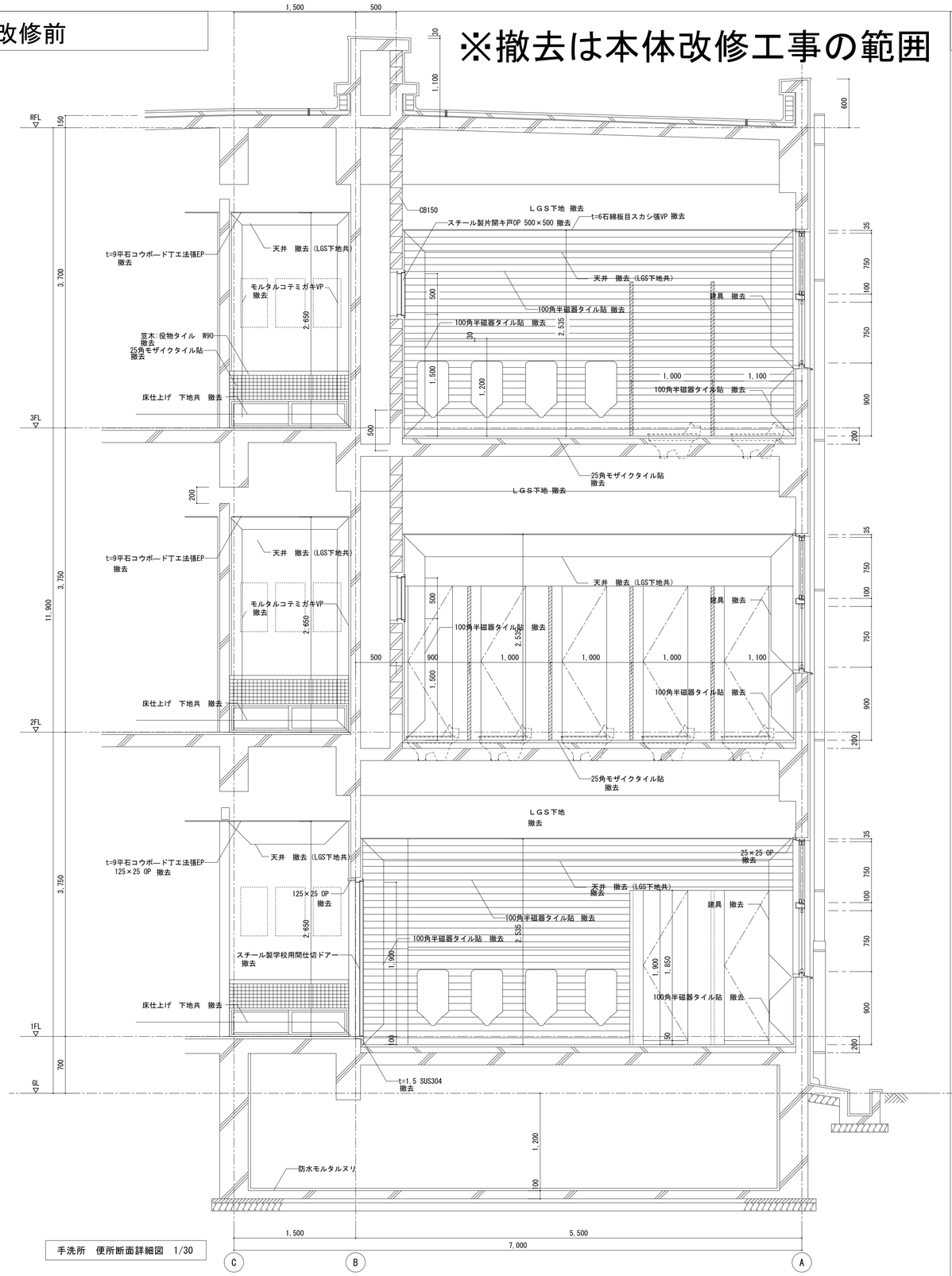
手洗所・便所1-3階平面詳細図　1/50

凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称 手洗所　便所平面詳細図（改修前後）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60
			図面番号 Ａ－１１

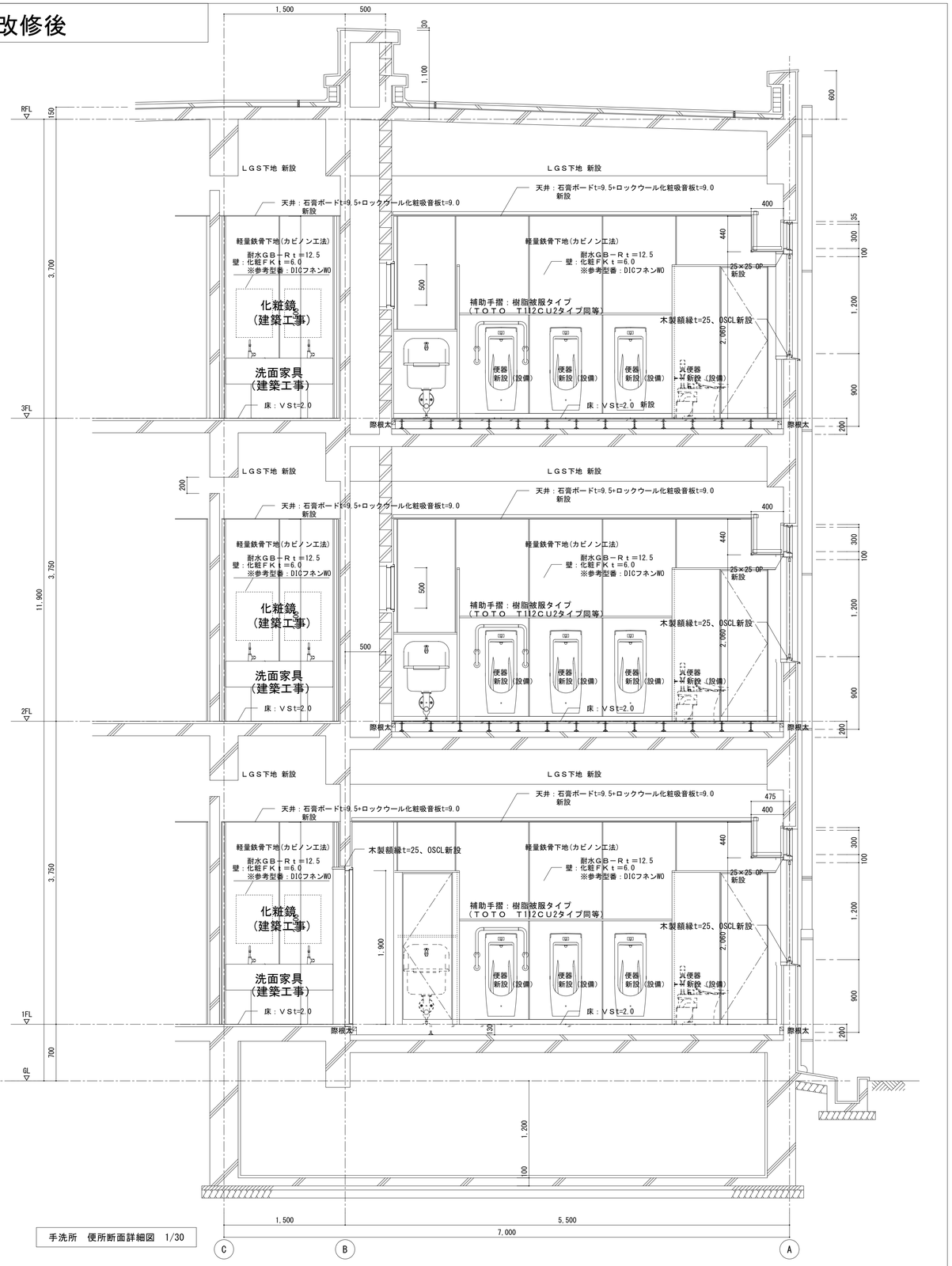
改修前

※撤去は本体改修工事の範囲



手洗所 便所断面詳細図 1/30

改修後



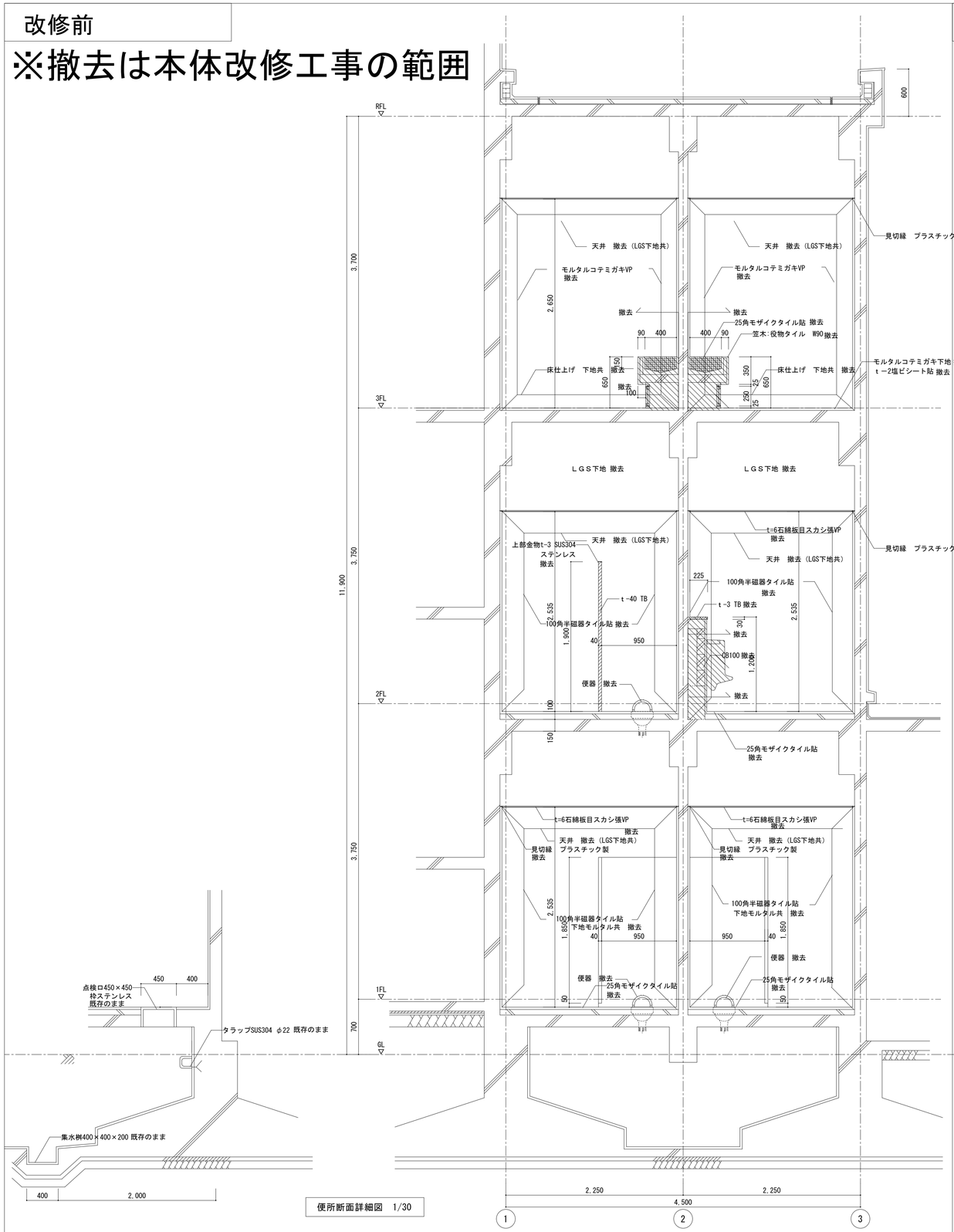
手洗所 便所断面詳細図 1/30

凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称 矩計図１（改修前後）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60
			図面番号 Ａ－１２

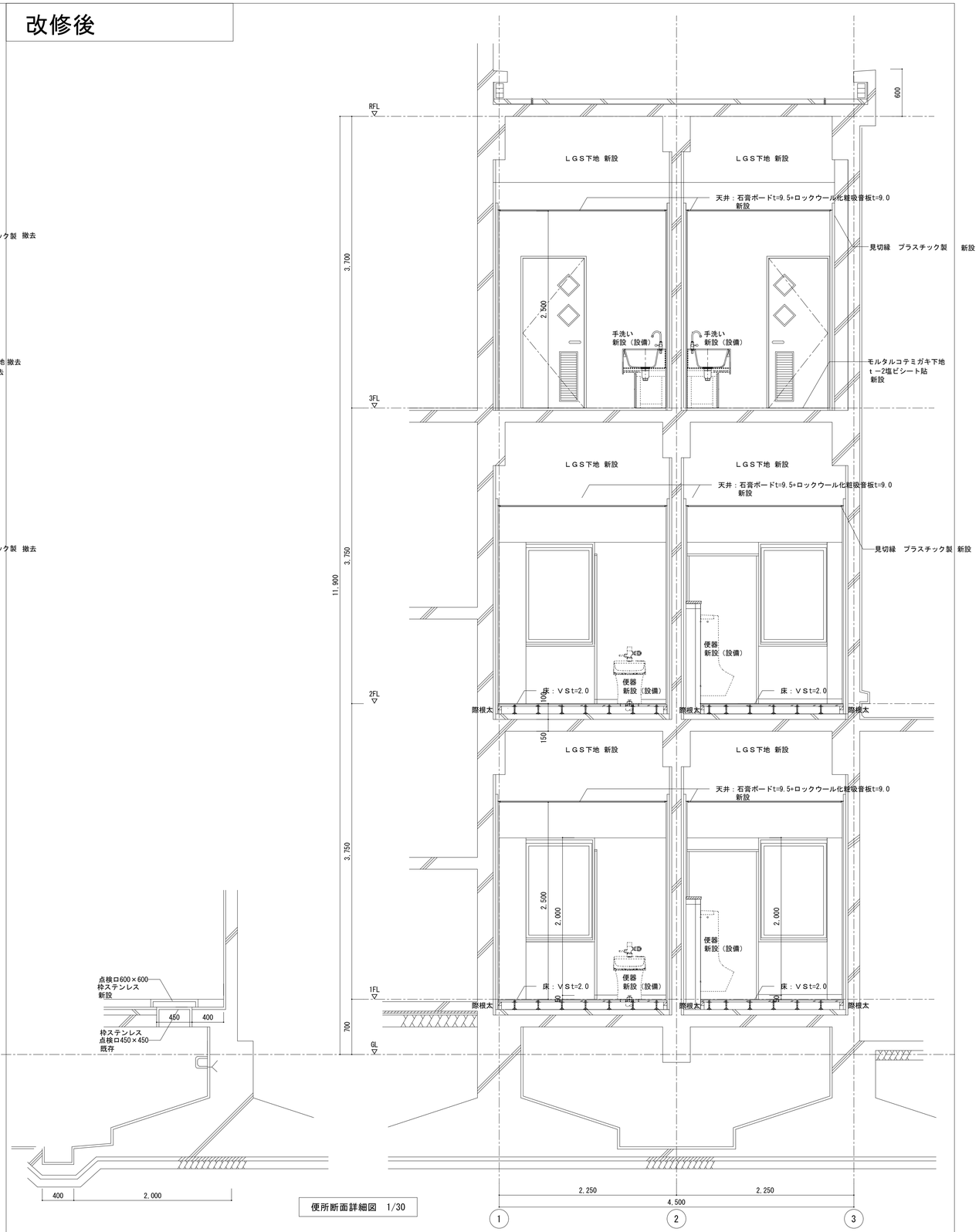
改修前

※撤去は本体改修工事の範囲



便所断面詳細図　1/30

改修後

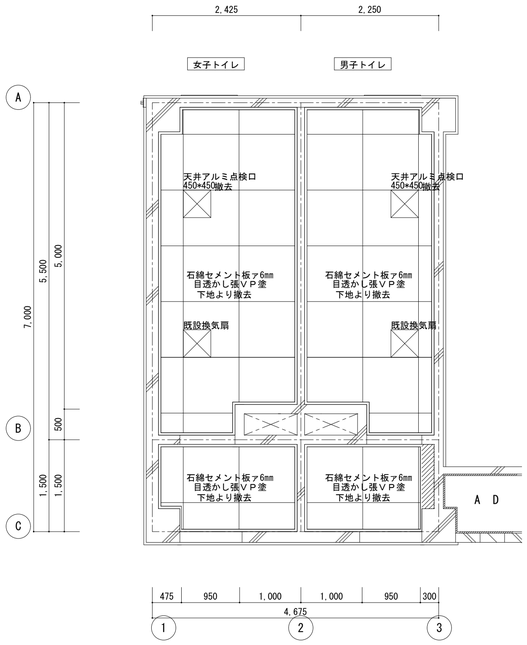


便所断面詳細図　1/30

凡例

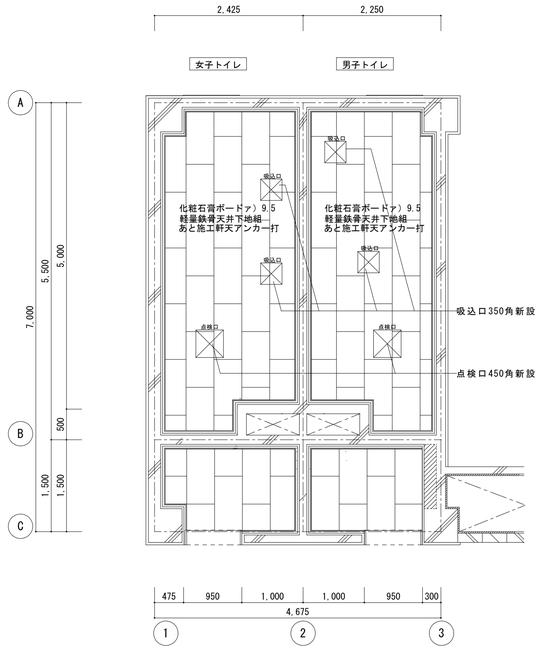
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印	工事名称：仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称：矩計図２（改修前後）	縮尺：A1：1/30　A3：1/60
			図面番号：Ａ－１３

改修前　１階



※撤去は本体改修工事の範囲

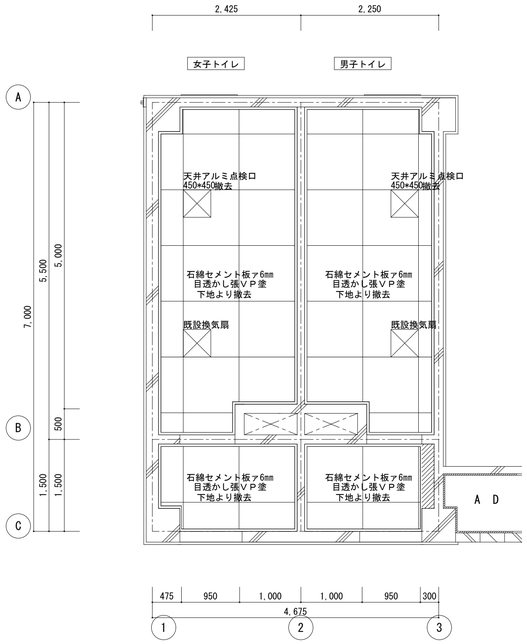
改修後　１階



階	場所	W	×	D	数量
1	天井点検口	450	×	450	2
	開口補強	450	×	450	2
	開口補強	300	×	300	2

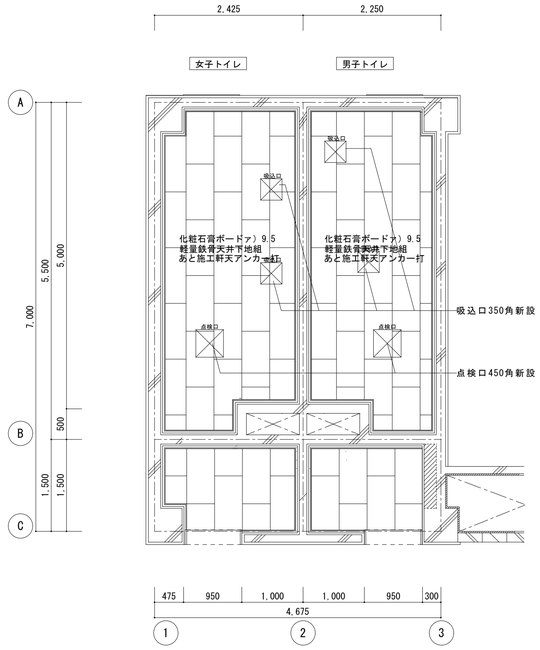
※天井点検口：建築工事
※天井吸込口：設備工事
※開口補強：建築工事

改修前　２，３階



※撤去は本体改修工事の範囲

改修後　２，３階



階	場所	W	×	D	数量
2	天井点検口	450	×	450	2
	開口補強	450	×	450	2
	開口補強	300	×	300	2
3	天井点検口	450	×	450	2
	開口補強	450	×	450	2
	開口補強	300	×	300	2

※天井点検口：建築工事
※天井吸込口：設備工事
※開口補強：建築工事

凡例

仲津中学校トイレ改修工事

工事名称
仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）

設計年月

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士（大臣）第278279号 古元 俊治

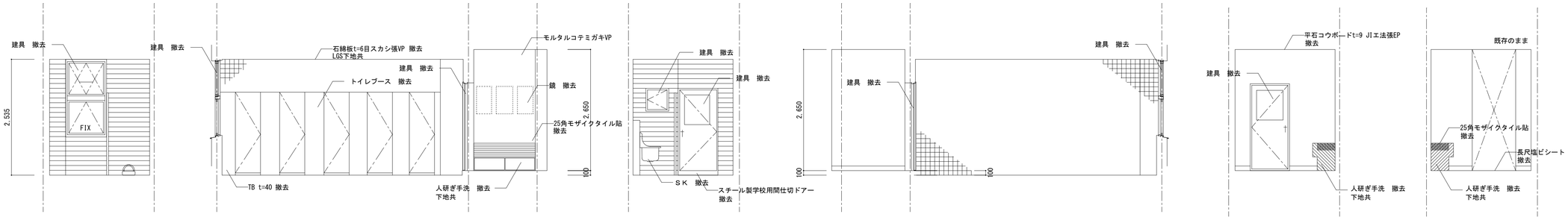
印

図面名称
天井伏図（改修前後）

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

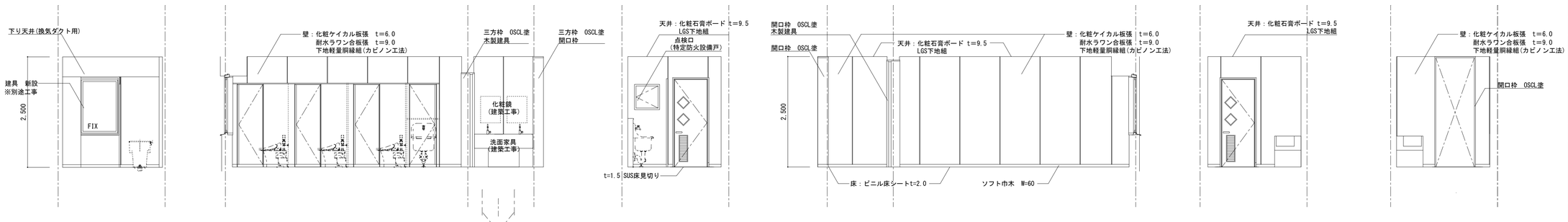
図面番号
Ａ－１４

女子便所（改修前）　※撤去は本体改修工事の範囲



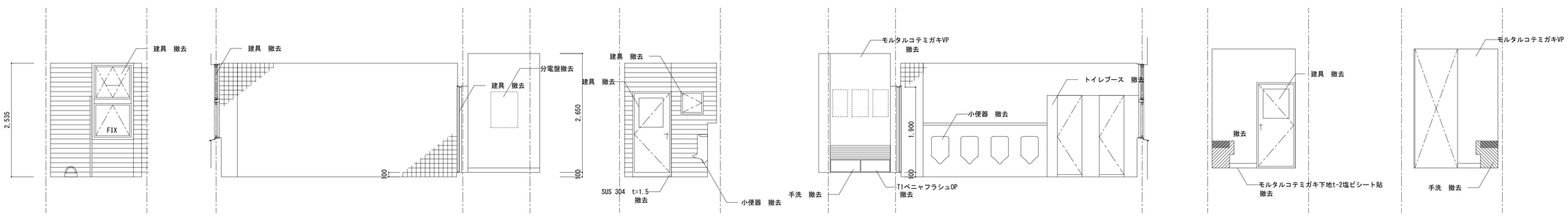
部位	撤去項目
床	25角モザイクタイル貼　撤去 モルタル撤去の上ケレン
巾木	
壁	100角半磁器タイル貼 下地モルタル共
天井	石綿板t=6目スカシ張VP ＬＧＳ下地共
廻縁	？？
備考	大小便器　SK トイレブース 人研ぎ洗面手洗い

女子便所（改修後）



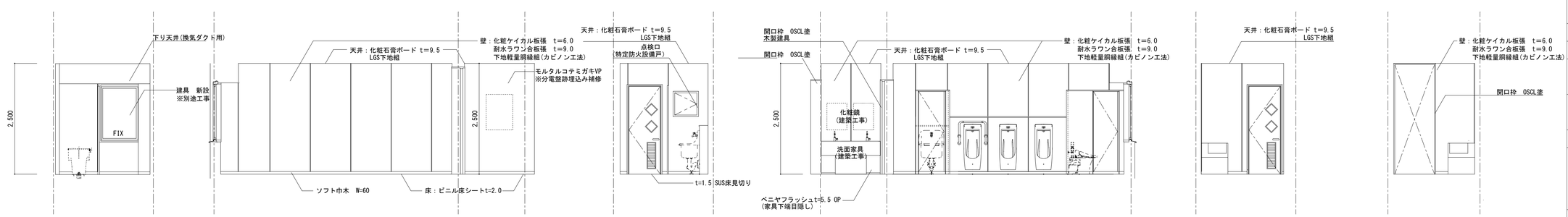
床	床：長尺塩ビシート貼　72.0 捨張：耐水合板ｔ＝12 シートパネルｔ＝20 支持脚（クッションＫＧ） 洗面：長尺塩ビシート貼替え　7-2.0 仕上げ撤去の上ｹﾚﾝ
巾木	ソフト巾木　Ｈ＝60
腰壁	化粧ケイカル板張ｱ6.0 （※参考型番：DICフネンW0-6mm）
壁	下地耐水ラワン合板ｱ9.0 下地軽量鋼縁組（カビノン工法） 既設壁タイル撤去ケレンの上
天井	化粧石膏ボードｔ9.5 LGS下地組 既設仕上撤去後（下地共）
廻縁	塩ビ
備考	トイレブース　　手洗い 化粧ケイカル板 左右２Ｒ巻込み突付け仕上げ （※参考：DICフネンW0 木口標準仕様） 鋼製ライニング軽量鉄骨W65 器具取付部分補強の事
室名札	ピクトサイン：プリズムプレート 218*154*150

男子便所（改修前）　※撤去は本体改修工事の範囲



部位	撤去項目
床	25角モザイクタイル貼　撤去 モルタル撤去の上ケレン
巾木	？？
壁	100角半磁器タイル貼 下地モルタル共
天井	石綿板t=6目スカシ張VP ＬＧＳ下地共
廻縁	
備考	大小便器　SK トイレブース 人研ぎ洗面手洗い

男子便所（改修後）



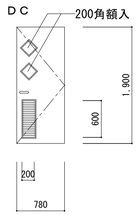
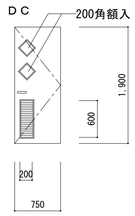
床	床：長尺塩ビシート貼　72.0 捨張：耐水合板ｔ＝12 シートパネルｔ＝20 支持脚（クッションＫＧ） 洗面：長尺塩ビシート貼替え　7-2.0 仕上げ撤去の上ｹﾚﾝ
巾木	ソフト巾木　Ｈ＝60
腰壁	化粧ケイカル板張ｱ6.0 （※参考型番：DICフネンW0-6mm）
壁	下地耐水ラワン合板ｱ9.0 下地軽量鋼縁組（カビノン工法） 既設壁タイル撤去ケレンの上
天井	化粧石膏ボードｔ9.5 LGS下地組 既設仕上撤去後（下地共）
廻縁	塩ビ
備考	トイレブース　　手洗い 化粧ケイカル板 左右２Ｒ巻込み突付け仕上げ （※参考：DICフネンW0 木口標準仕様） 鋼製ライニング軽量鉄骨W65 器具取付部分補強の事
室名札	ピクトサイン：プリズムプレート 218*154*150

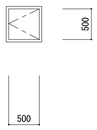
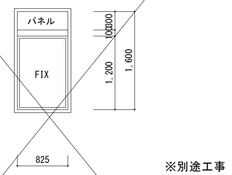
凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治

印　・　・

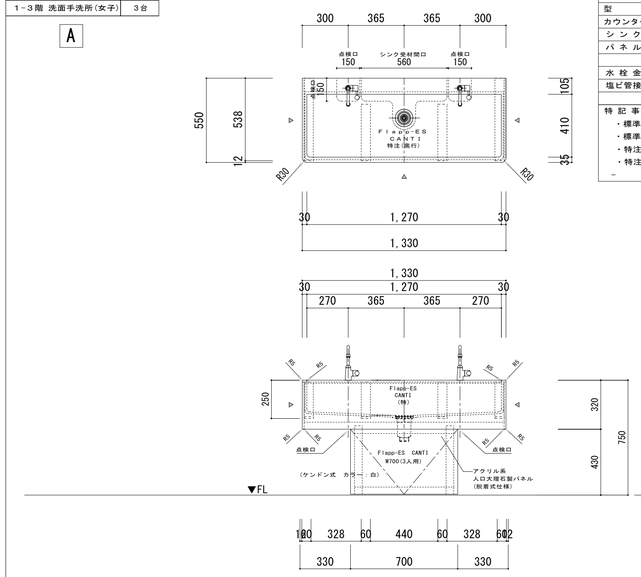
工事名称	仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）		設計年月
図面名称	展開図（改修前後）	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	図面番号 Ａ－１５

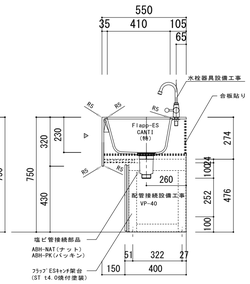
記　号	1 WD	2 WD				
姿　図						
種別・場所	木製片開きフラッシュ戸　　改修棟　1,2,3階　女子トイレ	木製片開きフラッシュ戸　　改修棟　1,2,3階　男子トイレ				
箇所・個数	3ヶ所	3ヶ所				
材料・見込	ポリ合板　　小口メラミン樹脂板	ポリ合板　　小口メラミン樹脂板				
硝　子	和紙調ガラス　ァ）3+3	和紙調ガラス　ァ）3+3				
金　物	丁番　戸当　レバーハンドル　ＤＣ	丁番　戸当　レバーハンドル　ＤＣ				
備　考	ガラリ	ガラリ				

記　号	1 SD					AW K7A 便所　1,2,3階　防火設備
姿　図						 ※別途工事
種別・場所	スチール扉（特定防火設備）　　改修棟　1,2,3階　男子・女子便所					アルミ製　ATハメ殺し窓　　１～３階男女便所
箇所・個数	3ヶ所					6ヶ所
材料・見込	溶融亜鉛めっき鋼板SOP塗　　扉厚40mm　材厚1.6mm　枠見込100mm					70・Ｂ－2種（ステンカラー）　　4方アルミアングル
硝　子						2級防音工事用建具（枠70M/M）ヲ示ス（特記無き限り）
金　物	付属部品　標準一式　平面ハンドル					内倒し窓手動式オペレーターハンドル操作　ハンドルケース付
備　考						t6.8 網入ガラス

設置場所	数量
1－3階 洗面手洗所(女子)	3台

A





手洗いカウンター（Flapp-ES）断面図

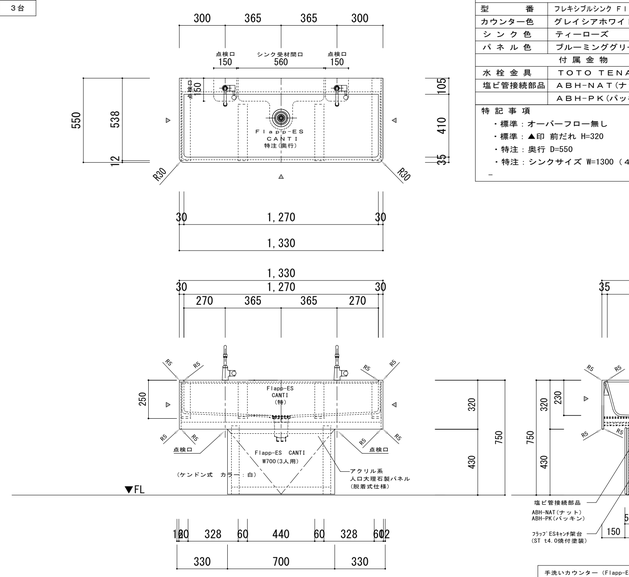
手洗いカウンター（Flapp-ES キャンチ 特注）

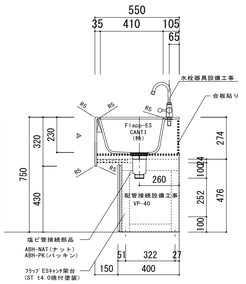
仕　様		備　考
型　番	フレキシブルシンク Flapp-ES CANTI	1台
カウンター色	グレイシアホワイト	－
シンク色	ティーローズ	－
パネル色	ロイヤルレッド	－
付属金物		数　量
水栓金具	TOTO TENA12BL	別途
塩ビ管接続部品	ABH-NAT(ナット)	各2個
	ABH-PK(パッキン)	各2個

特記事項
・標準：オーバーフロー無し
・標準：▲印 前だれ H=320
・特注：奥行 D=550
・特注：シンクサイズ W=1300（４人用シンク使用）
－

設置場所	数量
1－3階 洗面手洗所(男子)	3台

B





手洗いカウンター（Flapp-ES）断面図

手洗いカウンター（Flapp-ES キャンチ 特注）

仕　様		備　考
型　番	フレキシブルシンク Flapp-ES CANTI	1台
カウンター色	グレイシアホワイト	－
シンク色	ティーローズ	－
パネル色	ブルーミンググリーン	－
付属金物		数　量
水栓金具	TOTO TENA12BL	別途
塩ビ管接続部品	ABH-NAT(ナット)	各2個
	ABH-PK(パッキン)	各2個

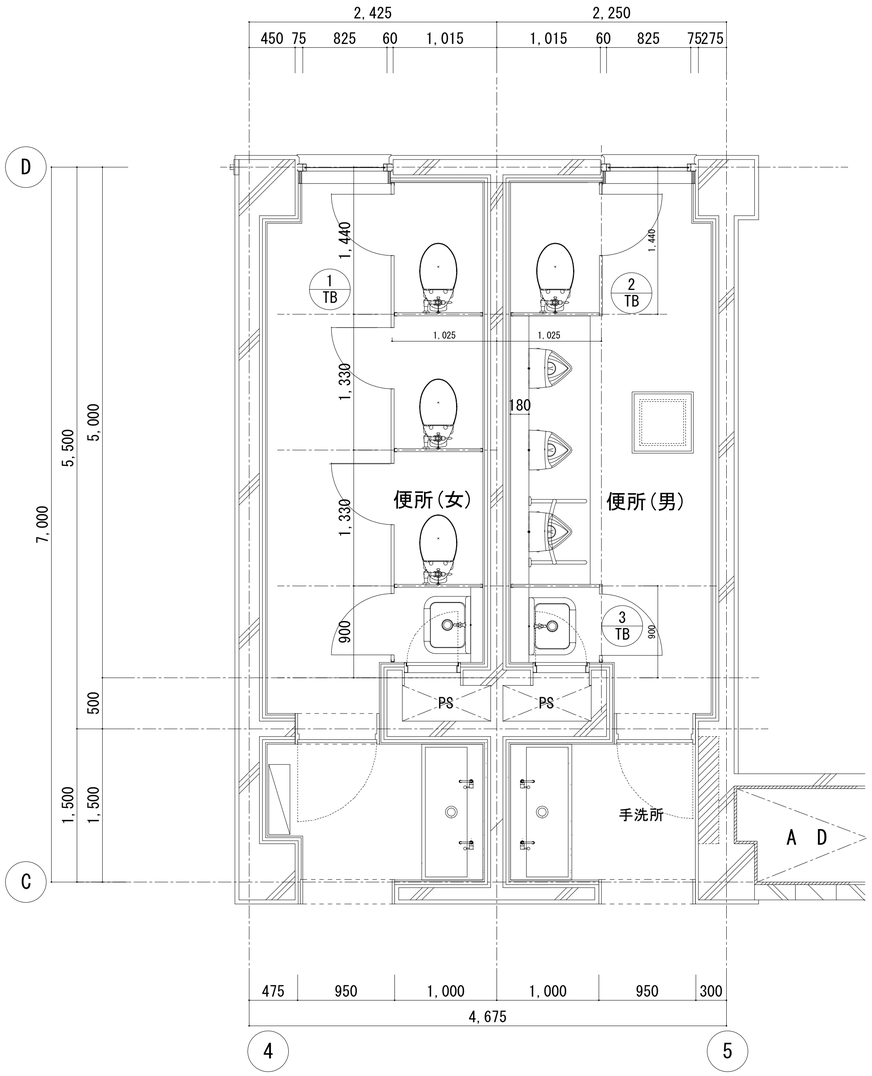
特記事項
・標準：オーバーフロー無し
・標準：▲印 前だれ H=320
・特注：奥行 D=550
・特注：シンクサイズ W=1300（４人用シンク使用）
－

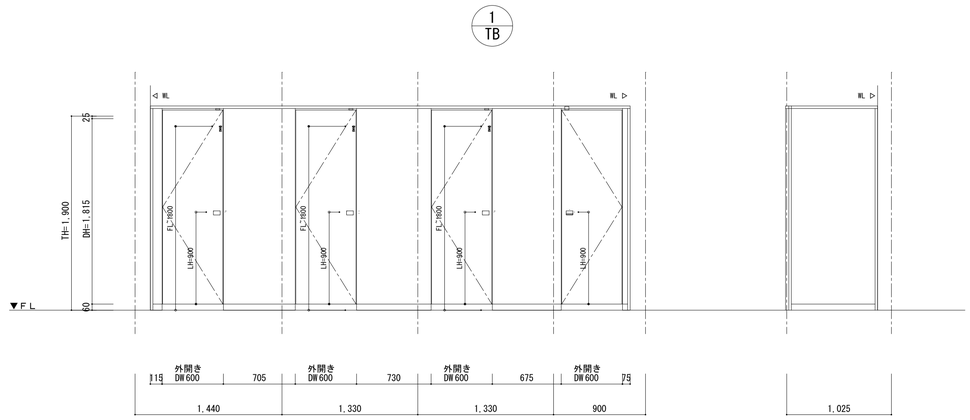
凡例

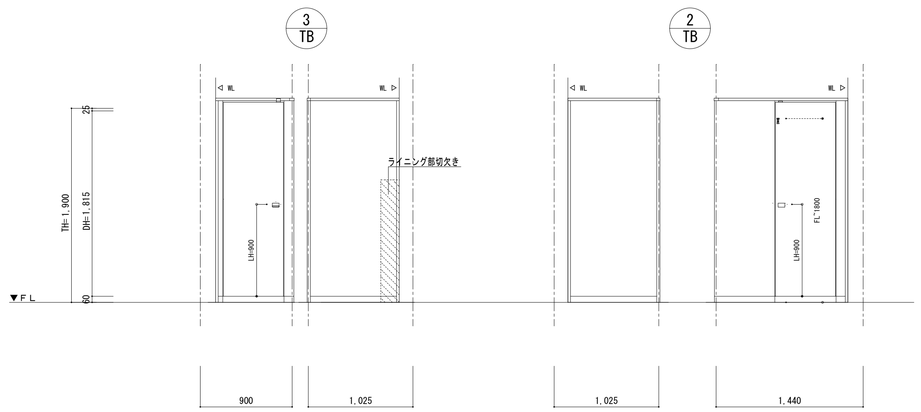
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治

印　・　・

工事名称	仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
図面名称	建具表・家具図（改修後）	縮尺 A1：1/50 1/20 A3：1/100 1/40
図面番号	Ａ－１６	

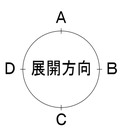






TA30

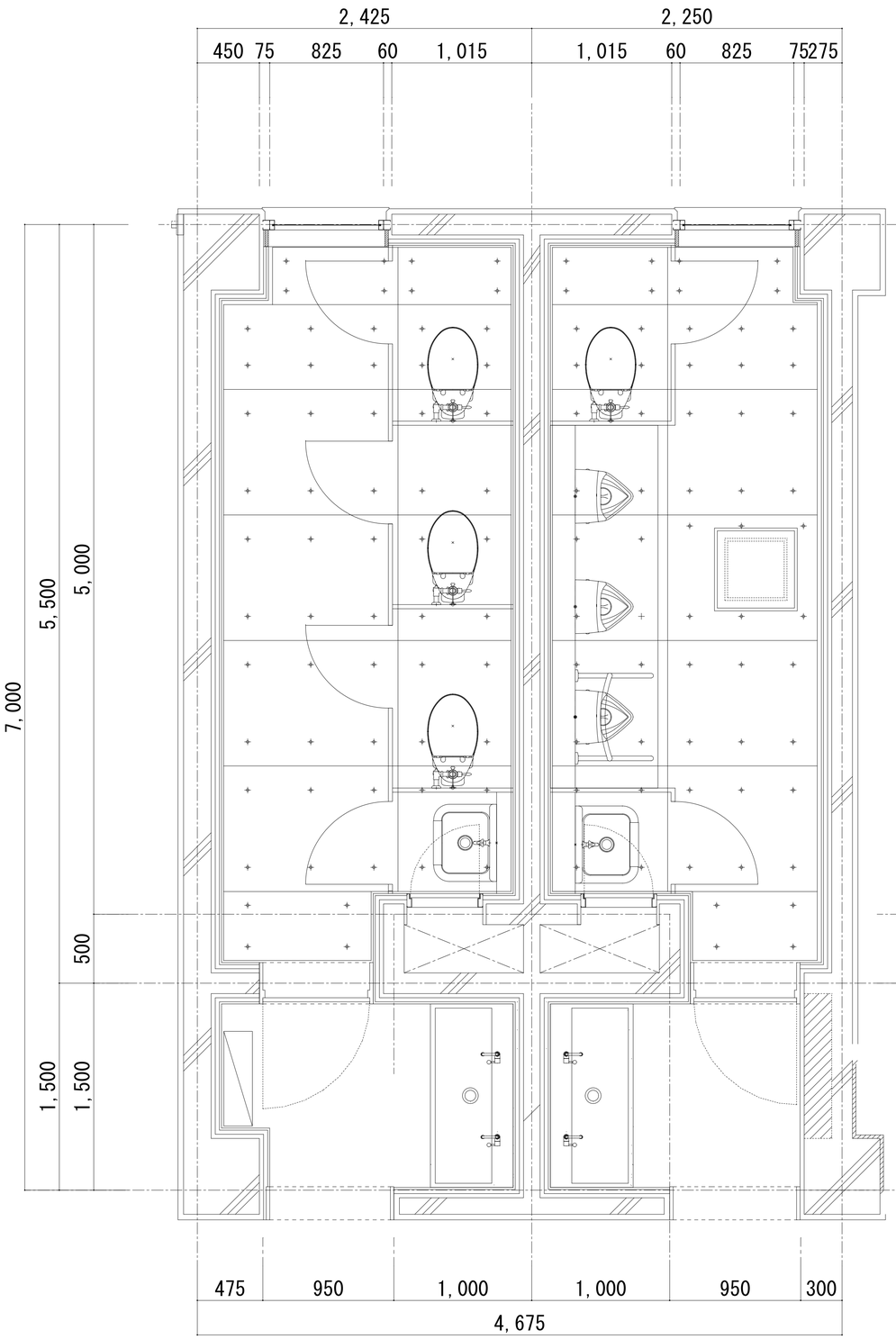
表面材(男子)	高圧メラミン化粧板貼りMDFパネル
表面材・色番号(男子)	
表面材(女子)	高圧メラミン化粧板貼りMDFパネル
表面材・色番号(女子)	
アルミ笠木30	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
エッジ	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
壁ﾚｰﾙ・太手材・ｺｰﾅｰﾚｰﾙ・召合せ	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
SUS巾木30	SUS-304HL
ヒンジ	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ SUS-304HL
スライドラッチ30	SUS-304他（表示付）
引手(SK)30	SUS-304他
笠木戸当り３０	SUS-304HL
帽子掛戸当り	SUS-304HL
外開きアーム30・21	SUS-304
ホーム落し	ベスト No.439（ブロンズ 90mm）

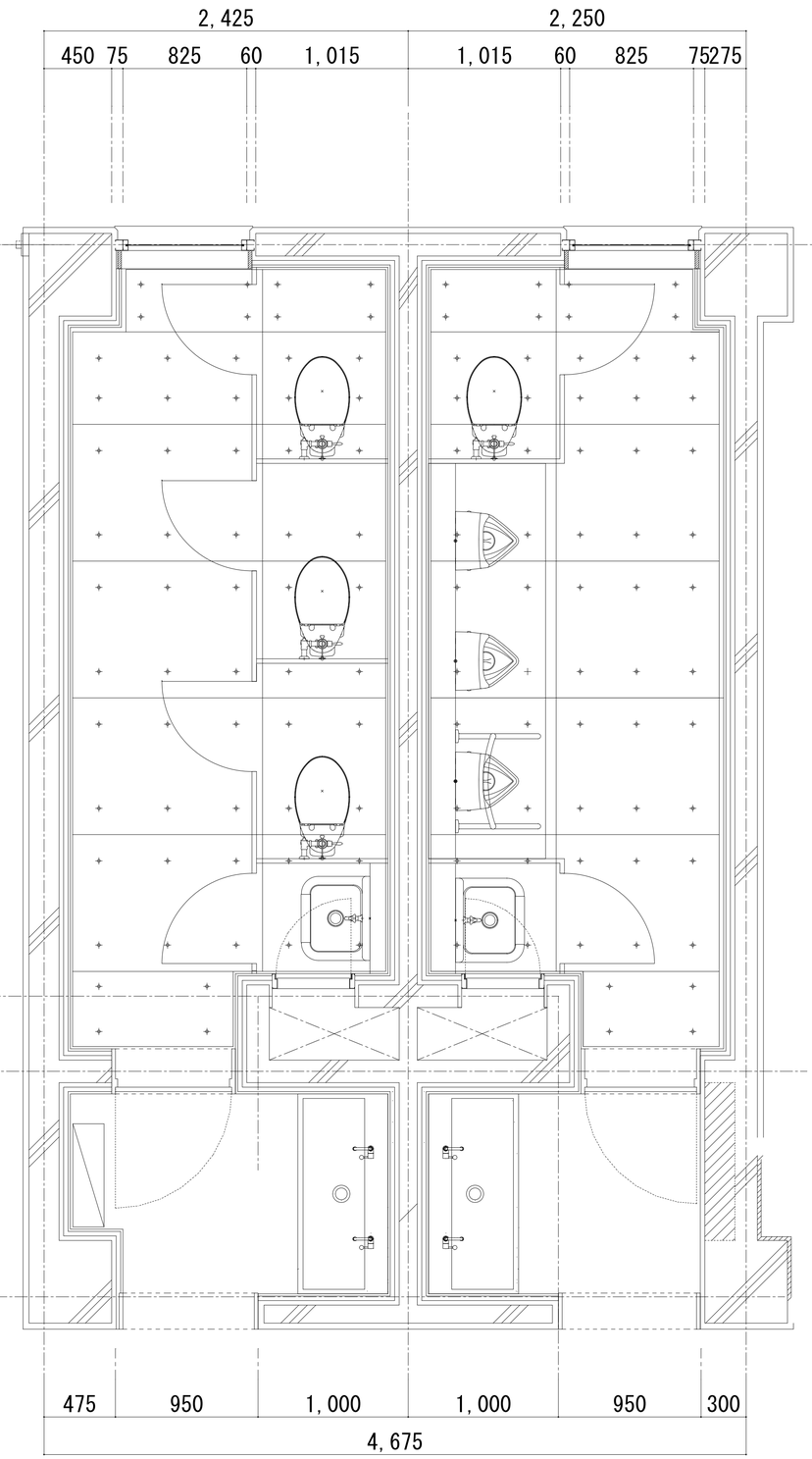


手洗所・便所1-3階平面詳細図 1/30

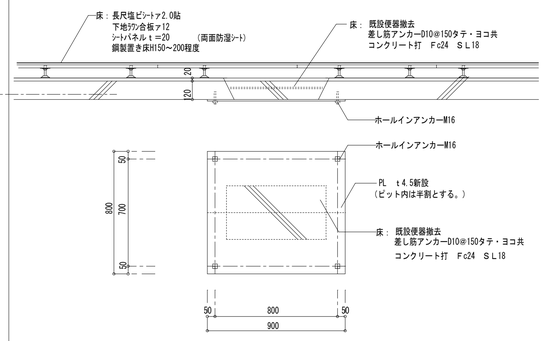
凡例

株式会社 綜企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)		設計年月
		図面名称 トイレブース詳細図（改修後）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図面番号 A－17



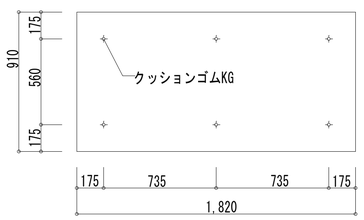


和式便所孔床補修部詳細図　S＝1：20



仕様表

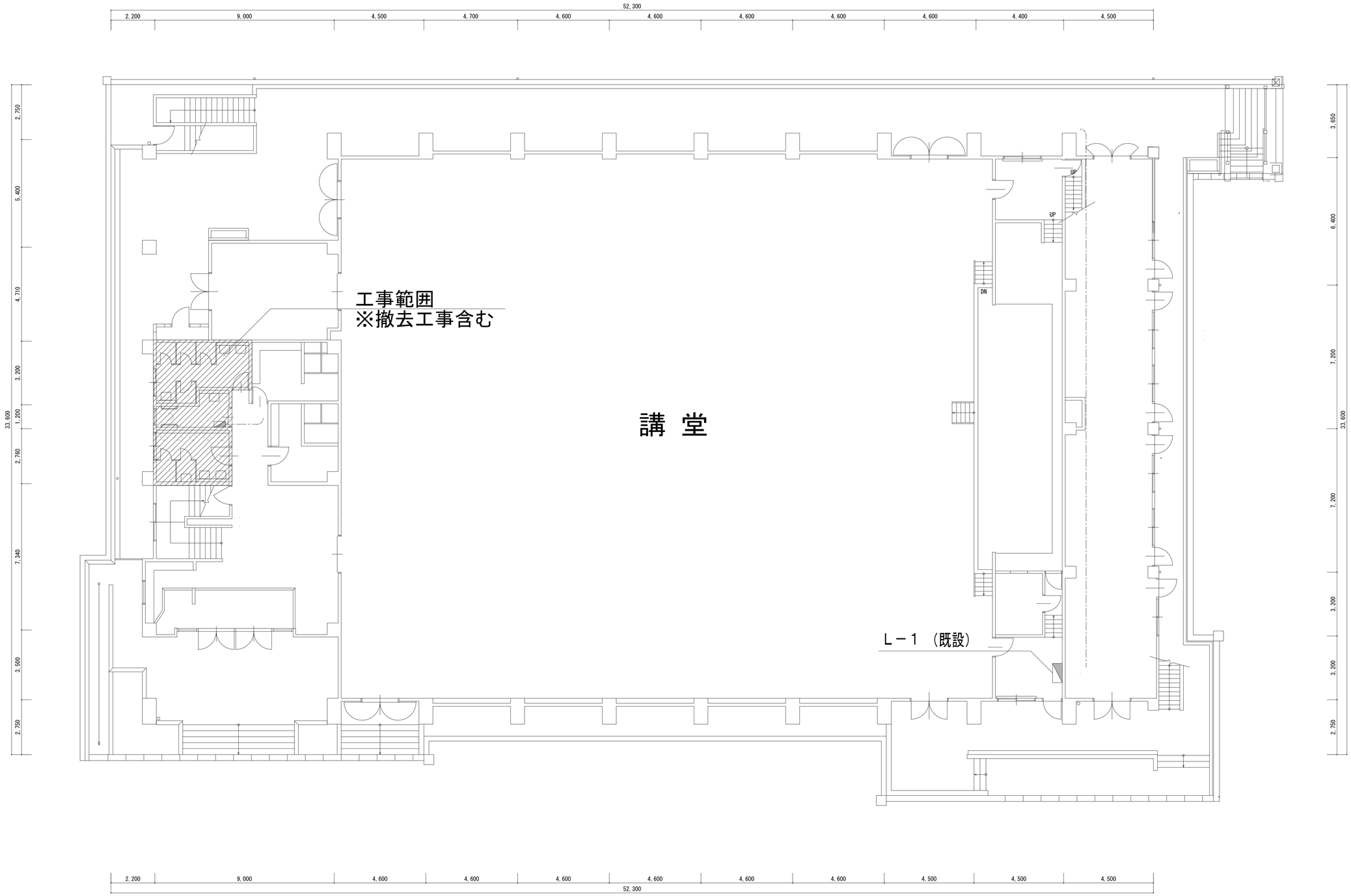
室　名	男子トイレ･女子トイレ(1階)	H=150
	男子トイレ･女子トイレ(2・3階)	H=200
仕上げ	長尺塩ビシート t2	
捨　張	普通合板タイプ1(ラワン) t12	
下　地	シートパネル 910X1,820Xt20（メタルベース）	
支持脚	クッションゴムKG	



シートパネル 平面詳細図 S=1/20

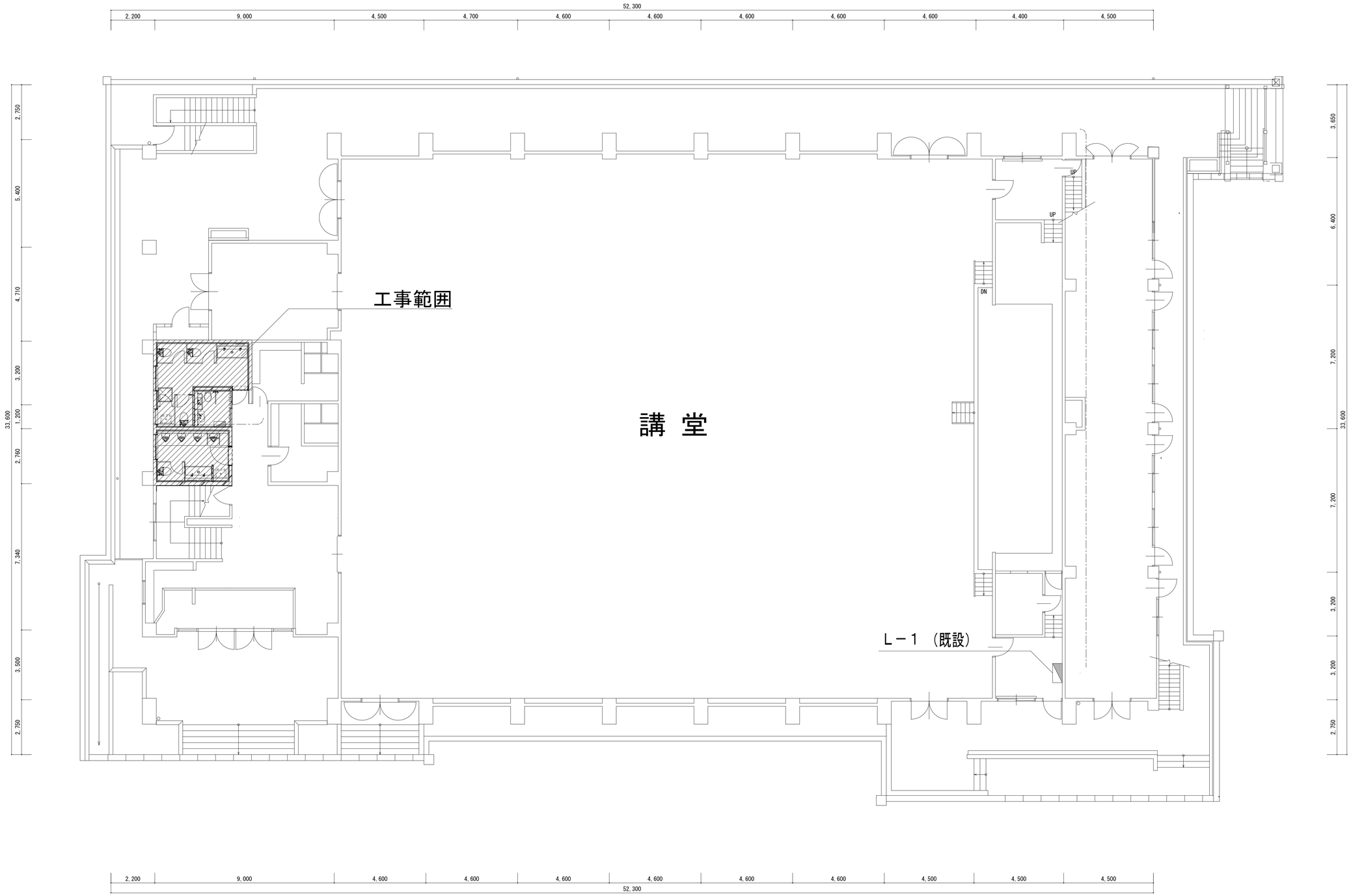
凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称 置床割付図	縮尺 A1：1/20 A3：1/40
			図面番号 A－18



※講堂棟撤去は本工事の範囲

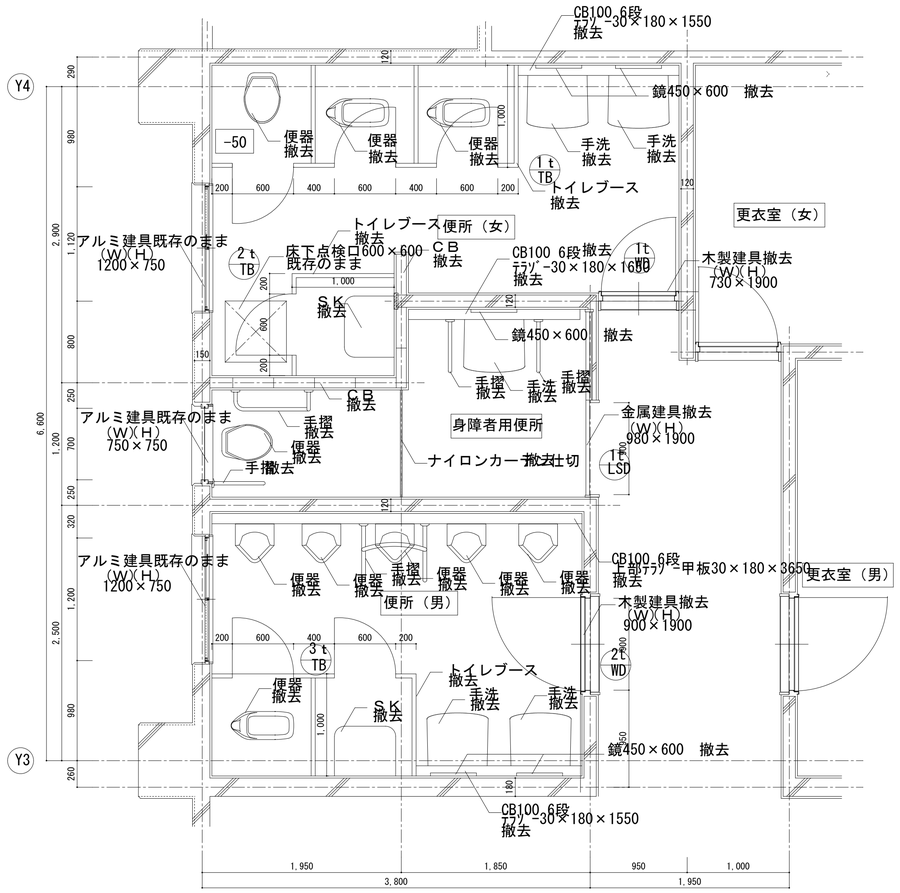
凡例		工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）		設計年月
	株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士（大臣） 第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	図面名称 講堂棟　全体平面図（改修前）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図面番号 A－19



凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称 講堂棟　全体平面図（改修後）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200
			図面番号 A－20

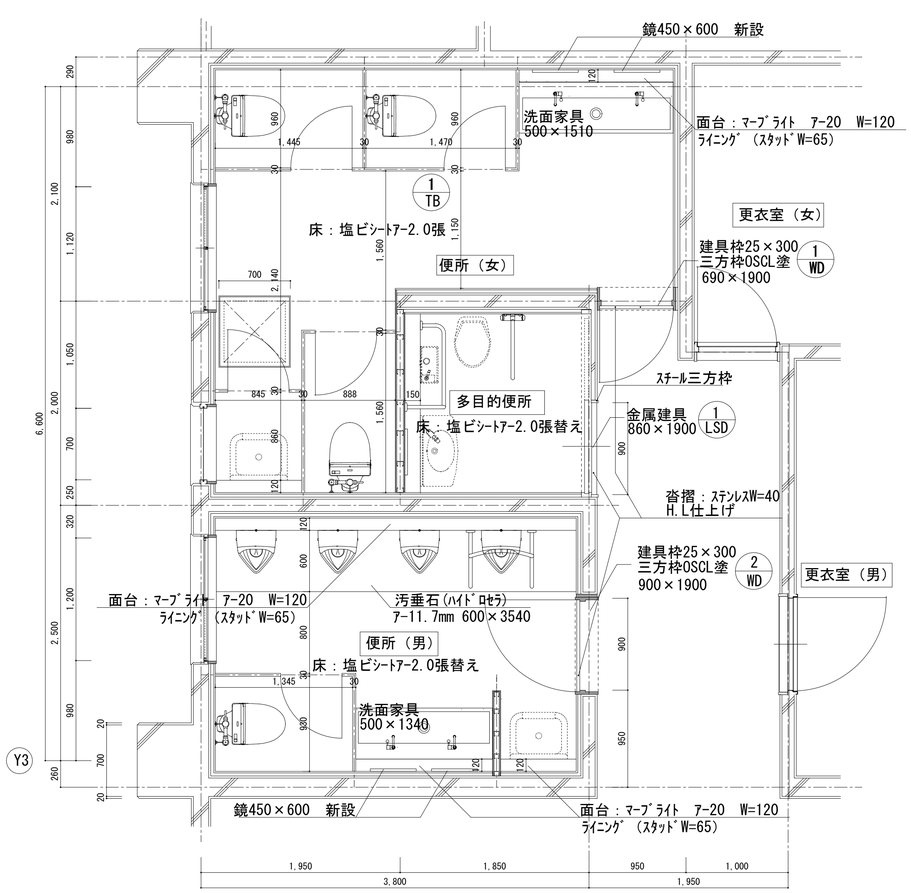
改修前



講堂便所平面詳細図（改修前） S=1/30

改修後

改修棟便所（改修後）			
床	トイレ部分 床：長尺塩ビシート貼 72.0 捨張：耐水合板 t=12 シートパネル t=20 支持脚：クッションKG 手洗部分 床：長尺塩ビｼｰﾄ貼替え 72.0 仕上げ撤去の上ｹﾚﾝ	天井	化粧石膏ボード79.5 LGS下地組 既設仕上撤去後（下地共）
		廻縁	塩ビ
巾木	ソフト巾木 H＝60	備考	トイレブース 手洗い
腰壁 壁	化粧ケイカル板張ｱ6.0 (※参考型番：DICフネンWO-6mm) 下地耐水ラワン合板ｱ9.0 下地軽量胴縁組（カビノン工法） 既設壁タイル撤去、ケレンの上		化粧ケイカル板 左右２R巻込み突付け仕上げ （平、出隅、入隅 とも） （※参考型番：DICフネンWO 木口標準仕様）
			鋼製ライニング軽量鉄骨W65 器具取付部分補強の事
		室名札新設	ピクトサイン：プリズムプレート 218*154*150



講堂便所平面詳細図（改修後） S=1/30

凡例

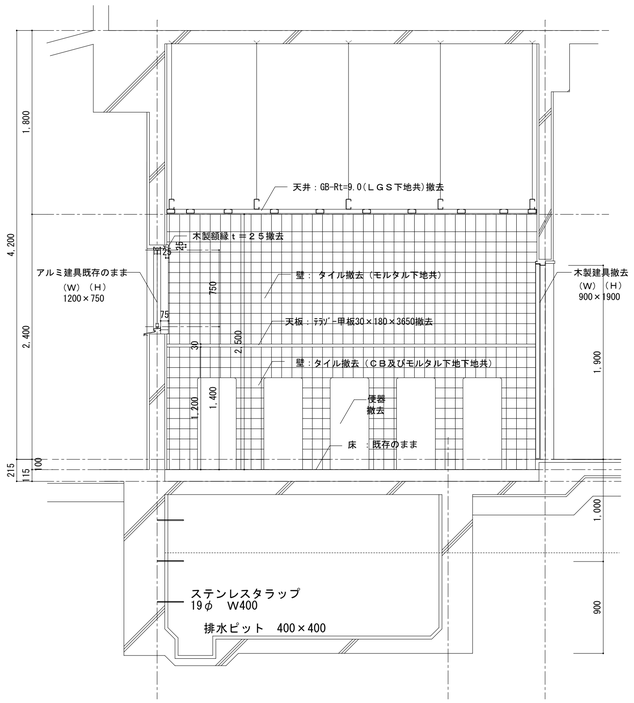
株式会社 綜企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治

印 ・ ・

工事名称	設計年月
仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	

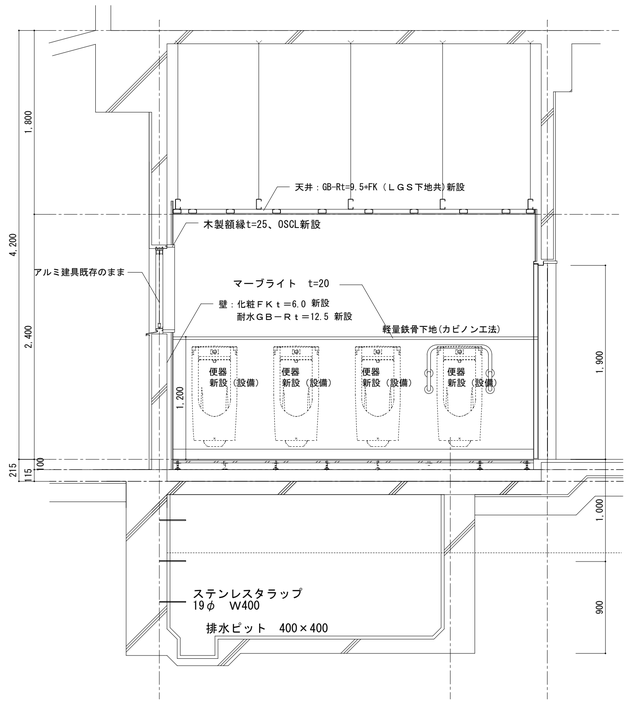
図面名称	縮尺	図面番号
手洗所 便所平面詳細図（改修前後）	A1：1/30 A3：1/60	A－21

改修前



講堂便所断面詳細図（改修前）　S=1/30

改修後

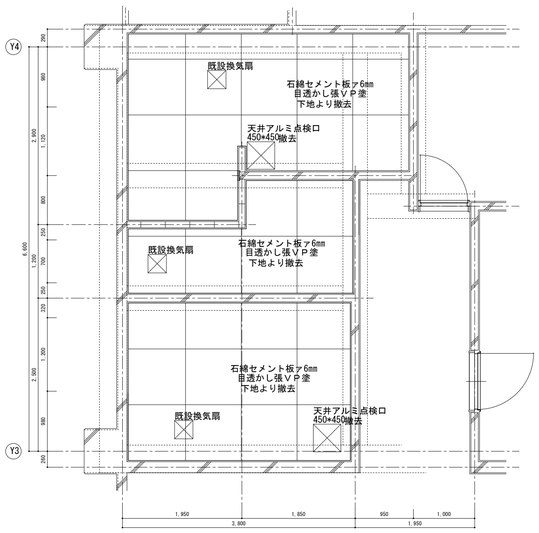


講堂便所断面詳細図（改修後）　S=1/30

凡例

工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）			設計年月
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士（大臣）第278279号 古元 俊治	印 ・　・	図面名称 矩計図１（改修前後）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図面番号 Ａ－２２

改修前　１階

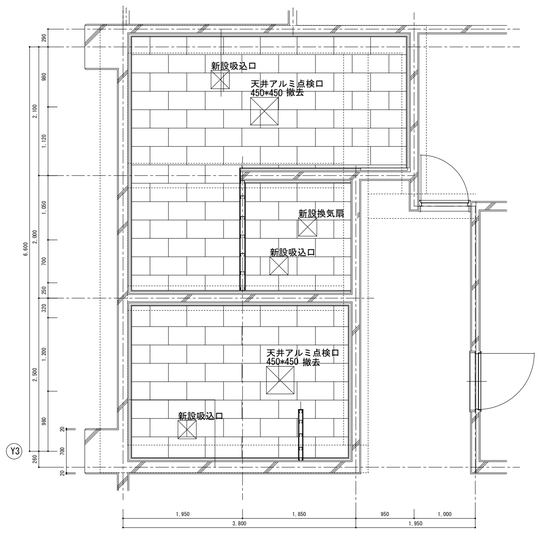


講堂便所平面詳細図（改修前）　S=1/30

改修後　１階

設備開口補強リスト

階	場所	W	×	D	数量
1	天井点検口	450	×	450	2
	開口補強	450	×	450	2
	開口補強	300	×	300	3



講堂便所平面詳細図（改修後）　S=1/30

凡例

仲津中学校トイレ改修工事

工事名称
仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）

設計年月

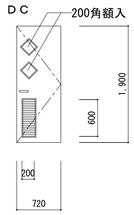
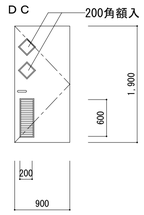
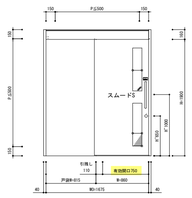
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士（大臣）第278279号 古元 俊治

印

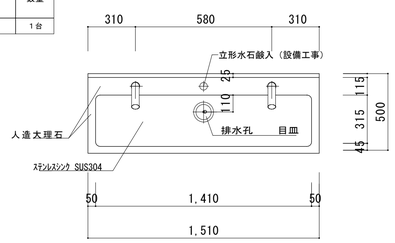
図面名称
天井伏図（改修前後）

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

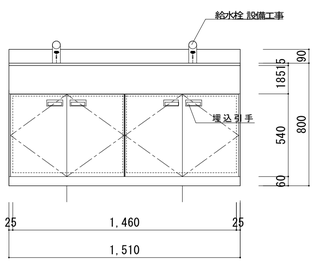
図面番号
Ａ－２３

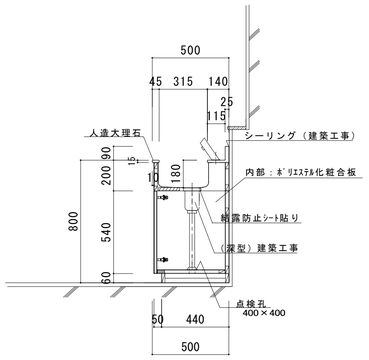
記　号	1 WD	2 WD				
姿　図						
種別・場所	木製片開きフラッシュ戸　　講堂棟　1階　女子トイレ	木製片開きフラッシュ戸　　講堂棟　1階　男子トイレ				
箇所・個数	1ヶ所	1ヶ所				
材料・見込	ポリ合板　　小口メラミン樹脂板	ポリ合板　　小口メラミン樹脂板				
硝　子	和紙調ガラス　ァ）3+3	和紙調ガラス　ァ）3+3				
金　物	丁番　戸当　レバーハンドル　ＤＣ	丁番　戸当　レバーハンドル　ＤＣ				
備　考	ガラリ	ガラリ				
記　号	1 LSD					
姿　図						
種別・場所	軽量ハンガー戸(手動)戸袋無面付納り　講堂棟　1階多目的トイレ					
箇所・個数	1ヶ所					
材料・見込	焼付鋼板					
硝　子	ポリカーボネート　ア）5（型）					
金　物	付属部品　標準一式　引き棒					
備　考						

設置場所	数量
講堂　女子手洗い	1台

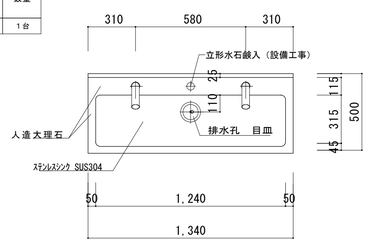


名称	材質・仕様
トップ	人造大理石　ｔ１５
流し	ステンレスシンク　SUS304 t1.0
	トラップ+建築工事
外　装	ポリエステル樹脂合板
内　装	ポリエステル樹脂合板
見　付	木口：メラミン樹脂化粧板
点検口	ポリエステル樹脂合板
台　輪	ポリエステル樹脂合板

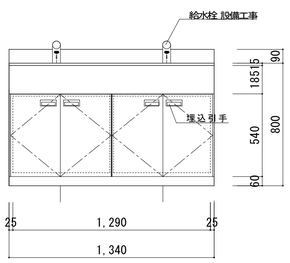


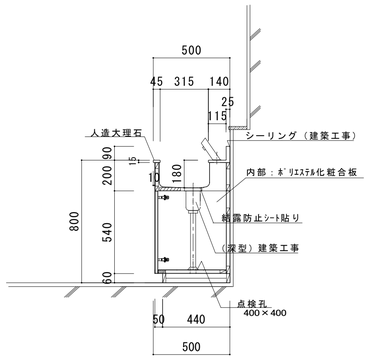


設置場所	数量
講堂　男子手洗い	1台



名称	材質・仕様
トップ	人造大理石　ｔ１５
流し	ステンレスシンク　SUS304 t1.0
	トラップ+建築工事
外　装	ポリエステル樹脂合板
内　装	ポリエステル樹脂合板
見　付	木口：メラミン樹脂化粧板
点検口	ポリエステル樹脂合板
台　輪	ポリエステル樹脂合板





凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治

印　・　・

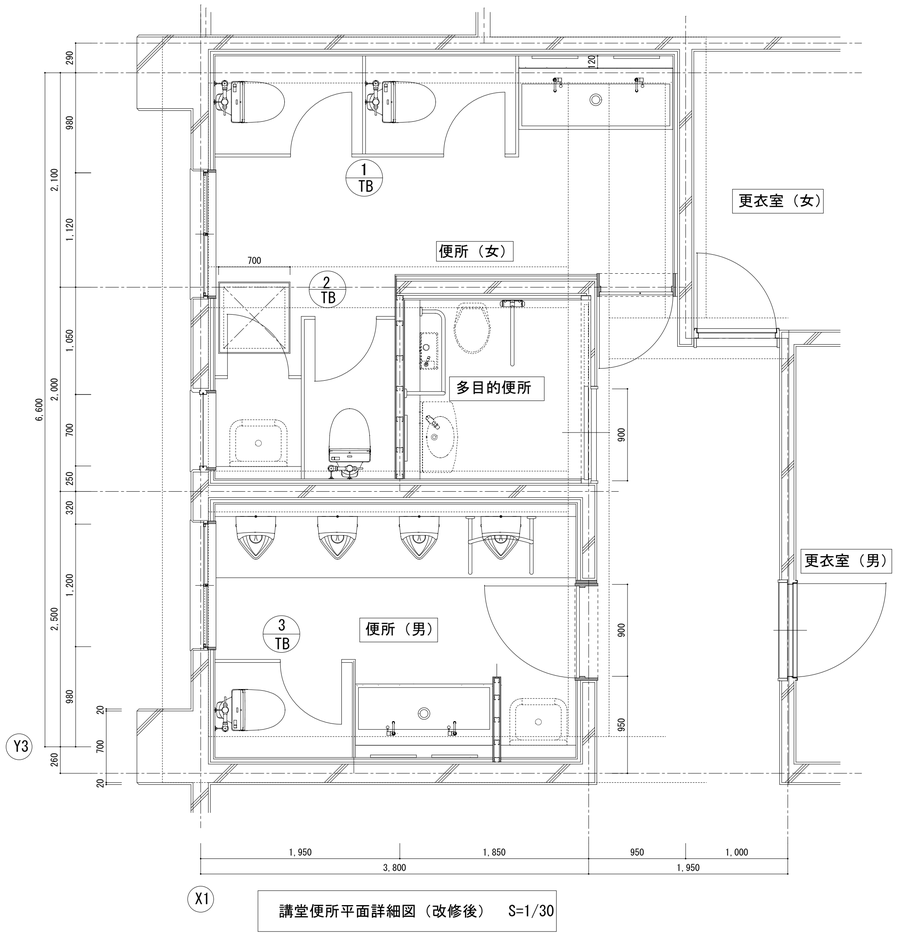
工事名称：仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)

設計年月

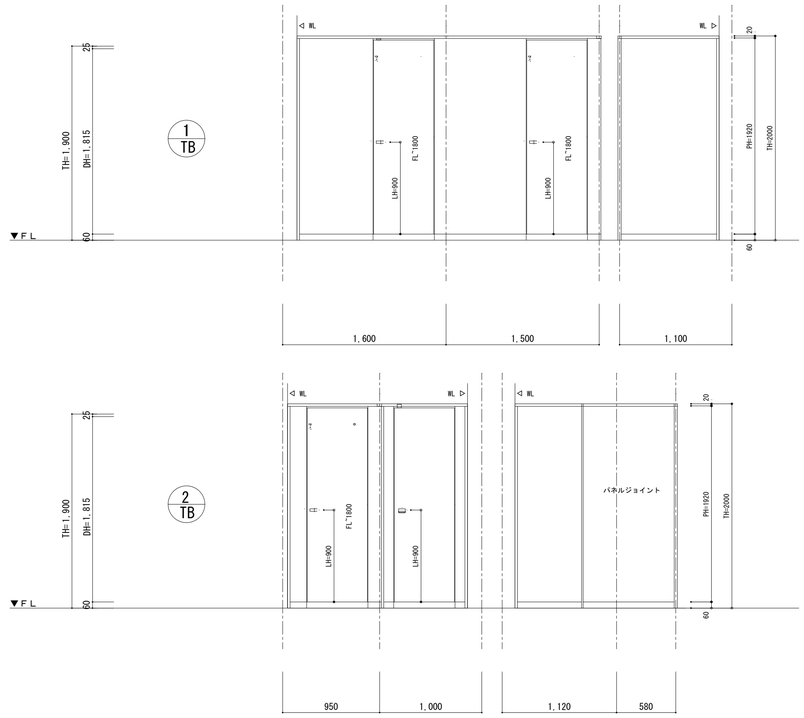
図面名称：建具表・家具図（改修後）

縮尺：A1：1/50 1/20　A3：1/100 1/40

図面番号：Ａ－２４

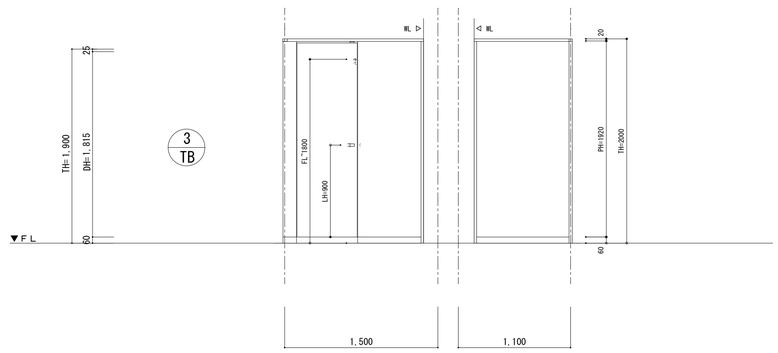


講堂便所平面詳細図（改修後）　S=1/30



TA30

表面材(女子)	高圧メラミン化粧板貼りMDFパネル
表面材・色番号(女子)	
アルミ笠木30	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
エッジ	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
壁ﾚｰﾙ・大手材・ｺｰﾅｰﾚｰﾙ・召合せ	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
SUS巾木30	SUS-304HL
ヒンジ	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ SUS-304HL
スライドラッチ30	SUS-304他（表示付）
引手(SK)30	SUS-304他
笠木戸当り３０	SUS-304HL
帽子掛戸当り	SUS-304HL
外開きアーム30・21	SUS-304
ホーム落し	ベスト　No.439（ブロンズ 90mm）

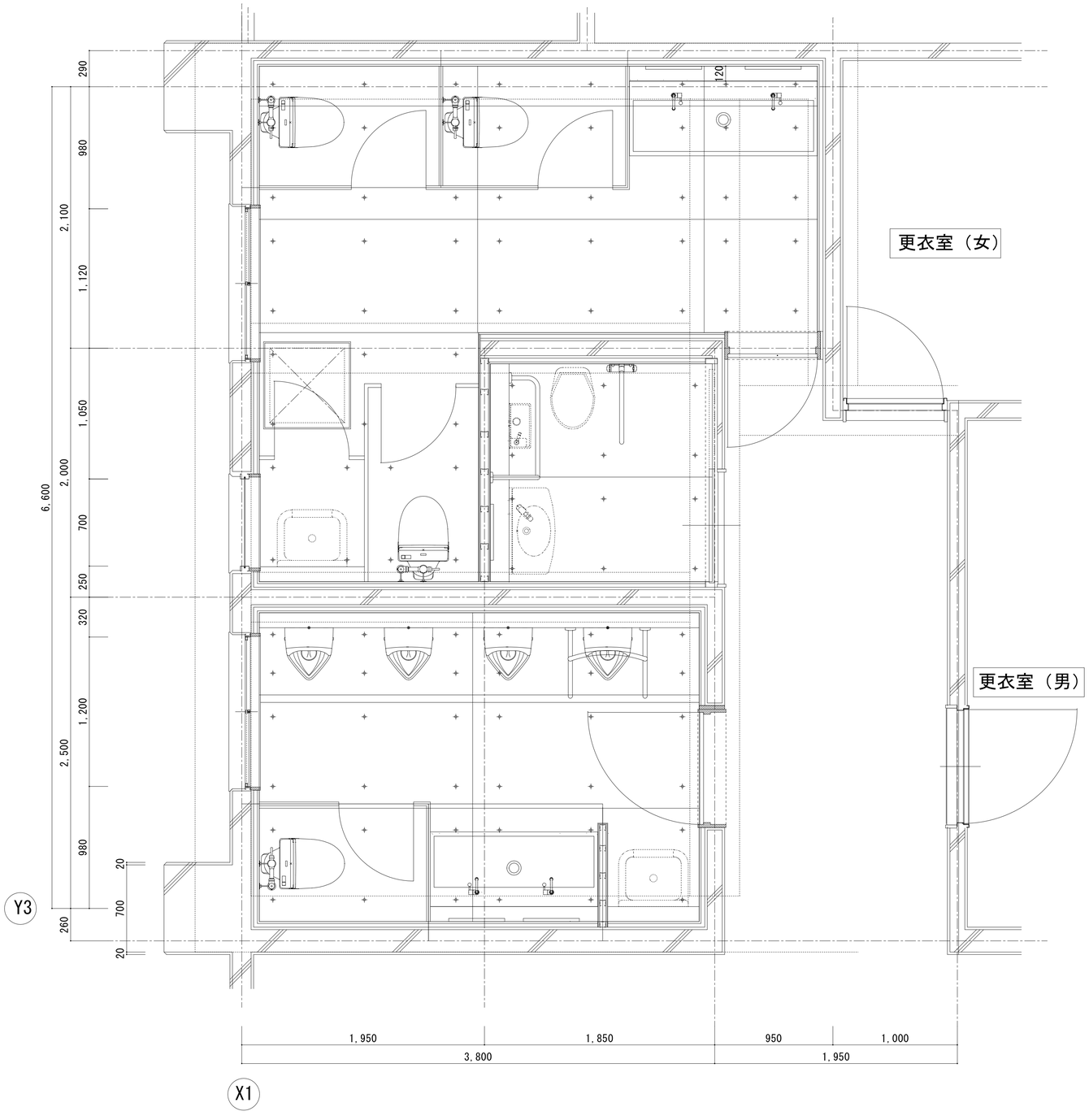


TA30

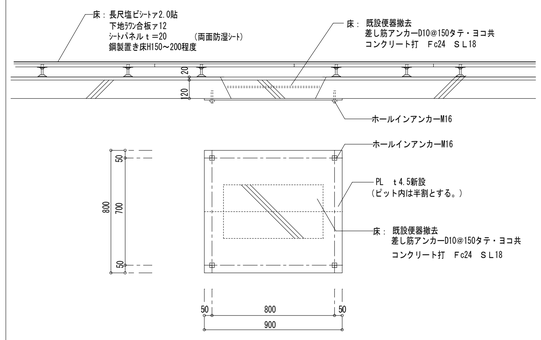
表面材(男子)	高圧メラミン化粧板貼りMDFパネル
表面材・色番号(男子)	
アルミ笠木30	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
エッジ	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
壁ﾚｰﾙ・大手材・ｺｰﾅｰﾚｰﾙ・召合せ	ｱﾙﾐ押出形材 A6063S-T5
SUS巾木30	SUS-304HL
ヒンジ	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ SUS-304HL
スライドラッチ30	SUS-304他（表示付）
引手(SK)30	SUS-304他
笠木戸当り３０	SUS-304HL
帽子掛戸当り	SUS-304HL
外開きアーム30・21	SUS-304
ホーム落し	ベスト　No.439（ブロンズ 90mm）

凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称 トイレブース詳細図（改修後）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60
			図面番号 A－２５

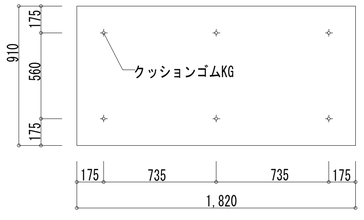


和式便所孔床補修部詳細図　S=1：20



仕様表

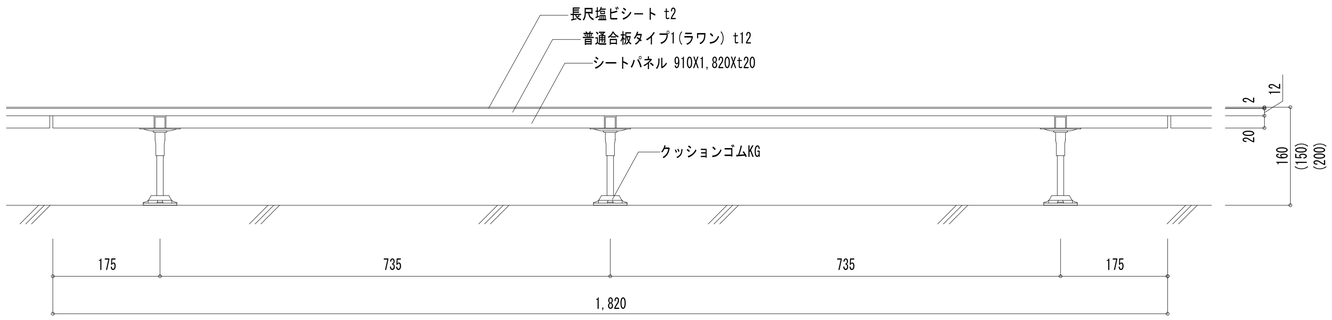
室　名	男子トイレ･女子トイレ(1階)	H=150
	男子トイレ･女子トイレ(2・3階)	H=200
仕上げ	長尺塩ビシート t2	
捨　張	普通合板タイプ1(ラワン) t12	
下　地	シートパネル 910X1,820Xt20（メタルベース）	
支持脚	クッションゴムKG	



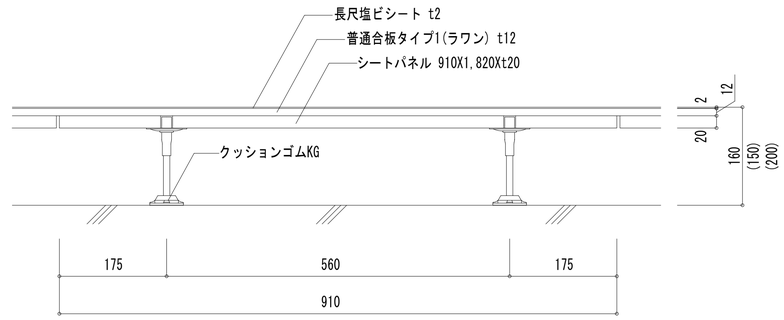
シートパネル 平面詳細図 S=1/20

凡例

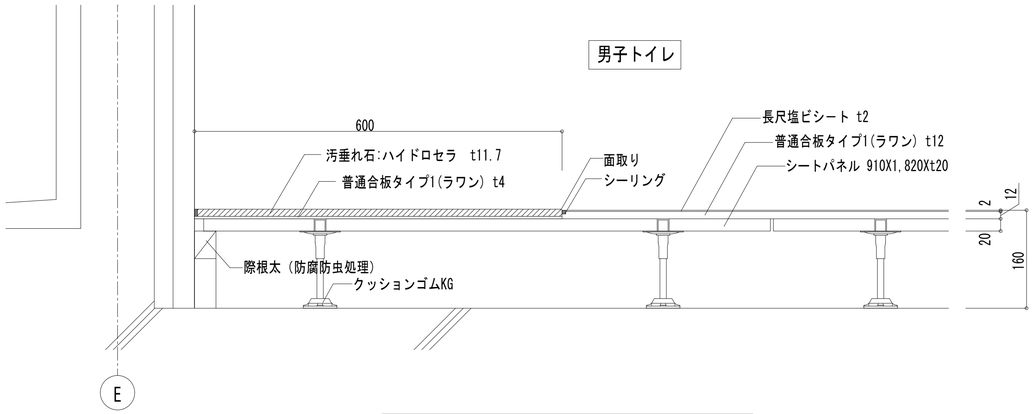
株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事（トイレ改修）	設計年月
		図面名称 置床割付図	縮尺 A1：1/20 A3：1/40
			図面番号 A－26



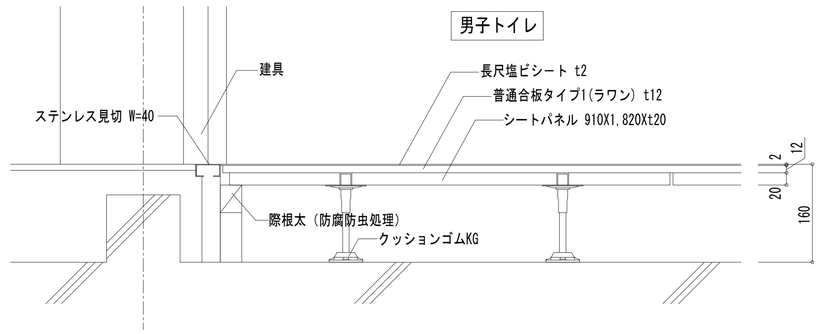
鋼製床組断面図(パネル長手方向) S=1/5



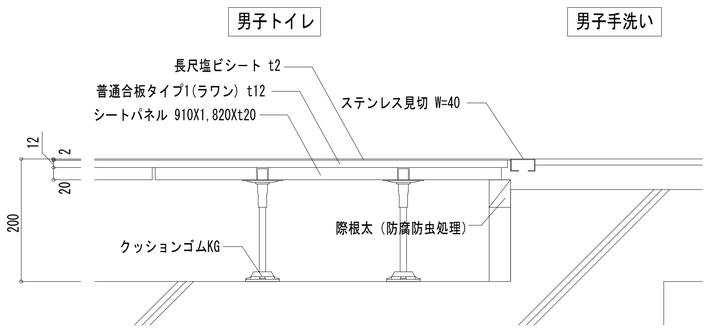
鋼製床組断面図(パネル短手方向) S=1/5



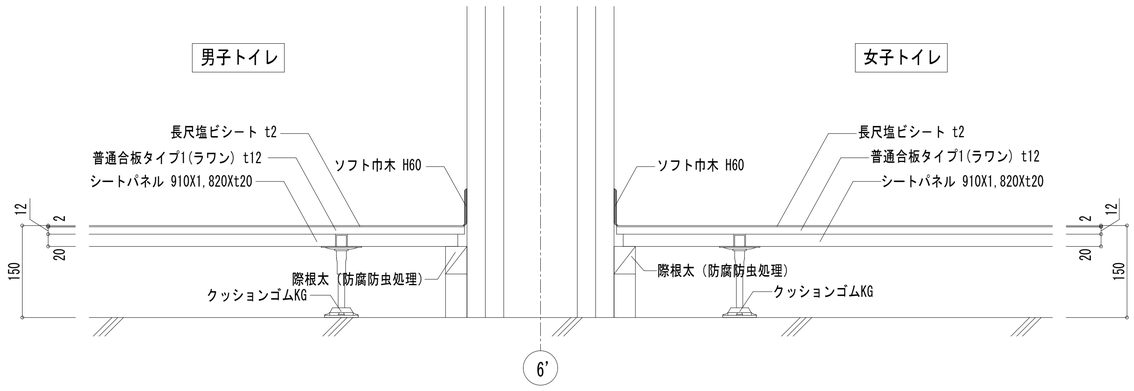
改修棟1･2･3階生徒トイレ 鋼製床組断面図 S=1/5



改修棟1･2･3階生徒トイレ 鋼製床組断面図 S=1/5



改修棟1･2･3階トイレ、手洗い 取合い部納まり 鋼製床組断面図 S=1/5



改修棟1･2･3階トイレ、手洗い 取合い部納まり 鋼製床組断面図 S=1/5

凡例

株式会社 綜企画設計　管理建築士 一級建築士(大臣) 第278279号 古元 俊治	印 ・ ・	工事名称 仲津中学校改修工事の内建築主体工事(トイレ改修)	設計年月
		図面名称 床・壁部分断面詳細図	縮尺 A1：1/50 A3：1/100
			図面番号 A－27